

Roland JD-XA

取扱説明書



目次

各部の名称とはたらき	2	演奏をコントロールする	10
トップ・パネル	2	音の高さを変える／ビブラートをかける (ピッチ・ベンド／モジュレーション・レバー)	10
リア・パネル	3	割り当てられた機能でサウンドを変化させる (WHEEL 1 / 2)	10
はじめに	4	外部ペダルを使う (HOLD / CTRL 1 / CTRL 2)	10
電源を入れる／切る	4	外部機器との接続	11
音色 (プログラム) を選ぶ	4	MIDI コントローラーとして使う	11
パートを選ぶ	4	CV / GATE アウトでアナログシンセサイザーとつなぐ	11
音色 (プログラム) のエディット	5	USB でパソコンとつなぐ	11
アナログ・パートのエディット	5	JD-XA 全体の設定をする	12
デジタル・パートのエディット	6	Menu 画面を表示する	12
エフェクトのエディット	6	システム設定をする (SYSTEM)	12
音色を初期化する (Init)	7	システム設定を保存する	14
音色やパターンをコピーする (Copy)	7	便利な機能 (UTILITY)	14
プログラムの保存 (Write)	7	USB メモリーをフォーマットする (USB MEM FORMAT)	14
気に入りの音色 (プログラム) を使う (Favorite)	7	USB メモリーを使ってデータのバックアップと復元をする	15
録音する (パターン・シーケンサー)	8	工場出荷時の設定に戻す (FACTORY RESET)	15
リアルタイム録音 (Real Time REC)	8	一定時間がたつと自動で電源が切れるようにする (Auto Off)	15
ステップ録音 (Step REC)	8	つまみやスライダーの点灯状態をカスタマイズする (LED CUSTOMIZE)	15
ステップ録音 2 (Step REC 2)	8	ショートカット一覧	16
パターンを再生する	9	エラー・メッセージ一覧	17
パターンを一括消去する (Pattern Erase)	9	主な仕様	17
パターン・ユーティリティ	9	安全上のご注意	18
パターンを保存する (Write)	9	使用上のご注意	18
アルペジオ演奏をする	9	スタンドに設置する	18
アルペジオのテンプレートを選ぶ	9		
アルペジオ・パターンのエディット	9		
アルペジオを保存する (Write)	9		
マイクを使う	10		
入力レベルを調整する	10		
ボコーダーを使う	10		
マイクを使ってモジュレーションをかける	10		
マイクに入力した音声を出力する	10		



取扱説明書 (本書)

最初に読んでください。使いかたの基本操作を説明しています。



PDF マニュアル (Web からダウンロード)

・パラメーター・ガイド

本機のすべてのパラメーターについて解説しています。

・MIDI インプリメンテーション

MIDIメッセージの詳細資料です。



PDF マニュアルの入手方法

1. パソコンなどで下記の URL を入力します。

<http://www.roland.co.jp/manuals/>



2. 製品名「JD-XA」を選んでください。

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」と「使用上のご注意」(「安全上のご注意」チラシと取扱説明書 (P.18)) をよくお読みください。
お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。
© 2015 ローランド株式会社

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

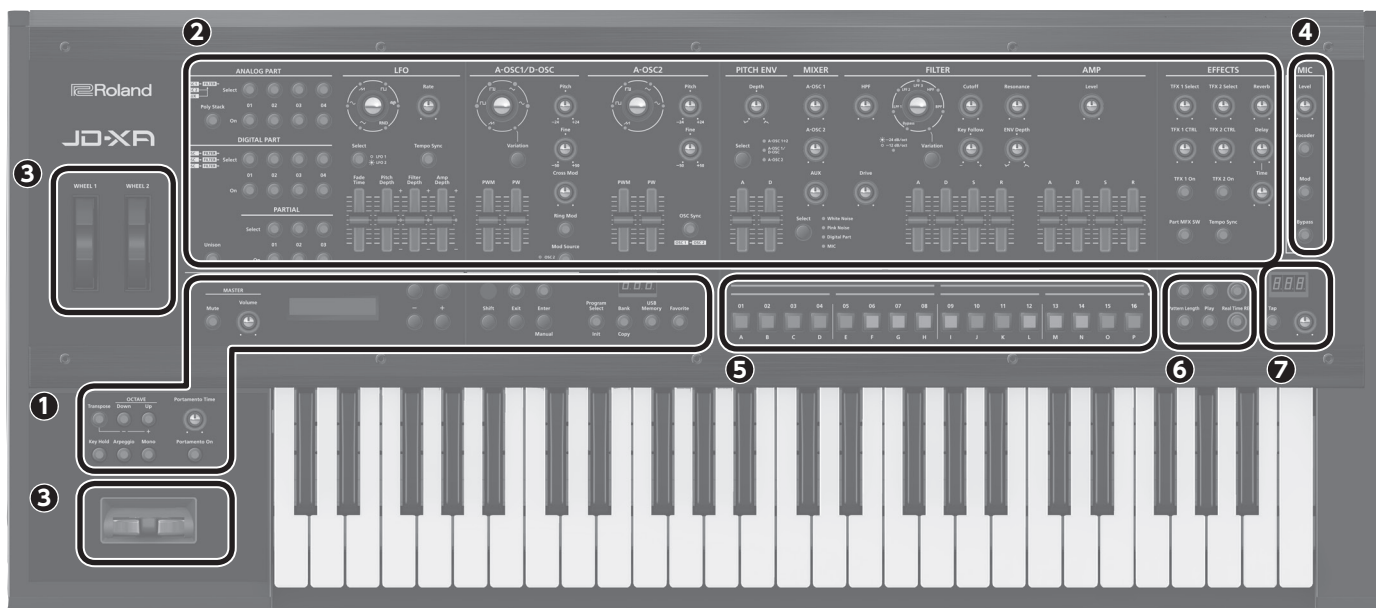
Español

Português

Nederlands

各部の名称とはたらき

トップ・パネル



① 共通セクション

JD-XA の以下の設定をします。

操作子	説明
MASTER [Mute] ボタン	OUTPUT の L/MONO、R 端子と ANALOG DRY 端子からの音をミュートします。
MASTER [Volume] つまみ	OUTPUT の L/MONO、R 端子と PHONES 端子から出力する音量を調節します。
ディスプレイ	操作に応じていろいろな情報を表示します。 ※ 本書では、画面を使用して機能説明をしていますが、工場出荷時の設定（音色名など）と本文中の画面上の設定は一致していないことがあります。あらかじめご了承ください。
カーソル [◀] [▶] ボタン	カーソル位置を左右に移動します。
[–] [+] ボタン	カーソル位置の値を変更します。
[MIDI CTRL] ボタン	JD-XA の操作子で外部 MIDI 機器をコントロールします。 → [MIDI コントローラーとして使う] (P.11)
[Menu] ボタン	Menu 画面を表示します。 → [Menu 画面を表示する] (P.12)
[Write] ボタン	エディットしたデータを保存します。 → [プログラムの保存 (Write)] (P.7)
[Shift] ボタン	他のボタンやつまみと組み合わせると、パラメーターを表示したり、別のパラメーターを操作したりできます。 → [ショートカット一覧] (P.16)
[Exit] ボタン	元の画面に戻ります。 画面によっては、実行中の機能を中止します。 つまみと組み合わせると、値を変更せずに現在のパラメーターを表示することができます。
[Enter] (Manual) ボタン	値の確定や操作を実行します。 [Shift] ボタンを押しながらこのボタンを押すと、エディット中の音色につまみやスライダーの位置をすべて反映させることができます (Manual)。
PROGRAM No. ディスプレイ	現在選ばれているプログラム番号 (P.01 ~ P.16) を表示します。プログラム、パターンがエディットされた状態のときは、ドットが点灯します。
[Program Select] (Init) ボタン	[01] ~ [16] ボタンでプログラムを選びます。 [Shift] ボタンを押しながらこのボタンを押すと、Init Menu 画面が表示されます。 → [音色を初期化する (Init)] (P.7)
[Bank] (Copy) ボタン	ボタンを押して点滅させ、[01] (A) ~ [16] (P) ボタンでプログラムのバンクを選びます。選んだあとはボタンが消灯して、以前の状態に戻ります。 [Shift] ボタンを押しながらこのボタンを押すと、Copy Menu 画面が表示されます。 → [音色やパターンをコピーする (Copy)] (P.7)
[USB Memory] ボタン	USB メモリーに保存してあるプログラムを使用します。
[Favorite] ボタン	プログラム番号をお気に入り音色 (Favorite) として登録したり、呼び出したりします。
[Transpose] ボタン	トランスポーズのオン/オフを切り替えます。 [Transpose] ボタンを押しながら、OCTAVE [Down] [Up] ボタンを押してトランスポーズ量を変更します。
OCTAVE [Down] [Up] ボタン	鍵盤のオクターブを切り替えます。
[Key Hold] ボタン	鍵盤を押鍵状態にいたまま保ちます。

操作子	説明
[Arpeggio] ボタン	アルペジオのオン/オフを切り替えます。 → [アルペジオ演奏をする] (P.9)
[Mono] ボタン	パートのモノ/ポリを切り替えます (デジタル・パートのみ)。
[Portamento Time] つまみ	ポルタメントの時間を設定します。
[Portamento On] ボタン	ポルタメントのオン/オフを設定します。

② シンセサイザー・セクション

5 ページ

ANALOG PART

アナログ・パートの選択やエディットをします。

DIGITAL PART

デジタル・パートの選択やエディットをします。

③ コントローラー

10 ページ

ピッチ・ベンド/モジュレーション・レバー

ピッチ (音の高さ) を変化させたり、ビブラートをかけたりできます。

ホイール 1/2

コントローラーとして好きな MIDI メッセージをアサインすることができます。
→ [システム設定をする (SYSTEM)] (P.12)

④ MIC

10 ページ

操作子	説明
[Level] つまみ	マイクの音量を設定します。
[Vocoder] ボタン	マイクをボコーダーとして使用します。
[Mod] ボタン	マイクをモジュレーションに使用します。
[Bypass] ボタン	マイクの音をそのまま出力します。

⑤ [01] ~ [16] ボタン

プログラムやバンクを選ぶときや、パターン・シーケンサーで録音するときに使います。

⑥ PATTERN SEQ (パターン・シーケンサー)

8 ページ

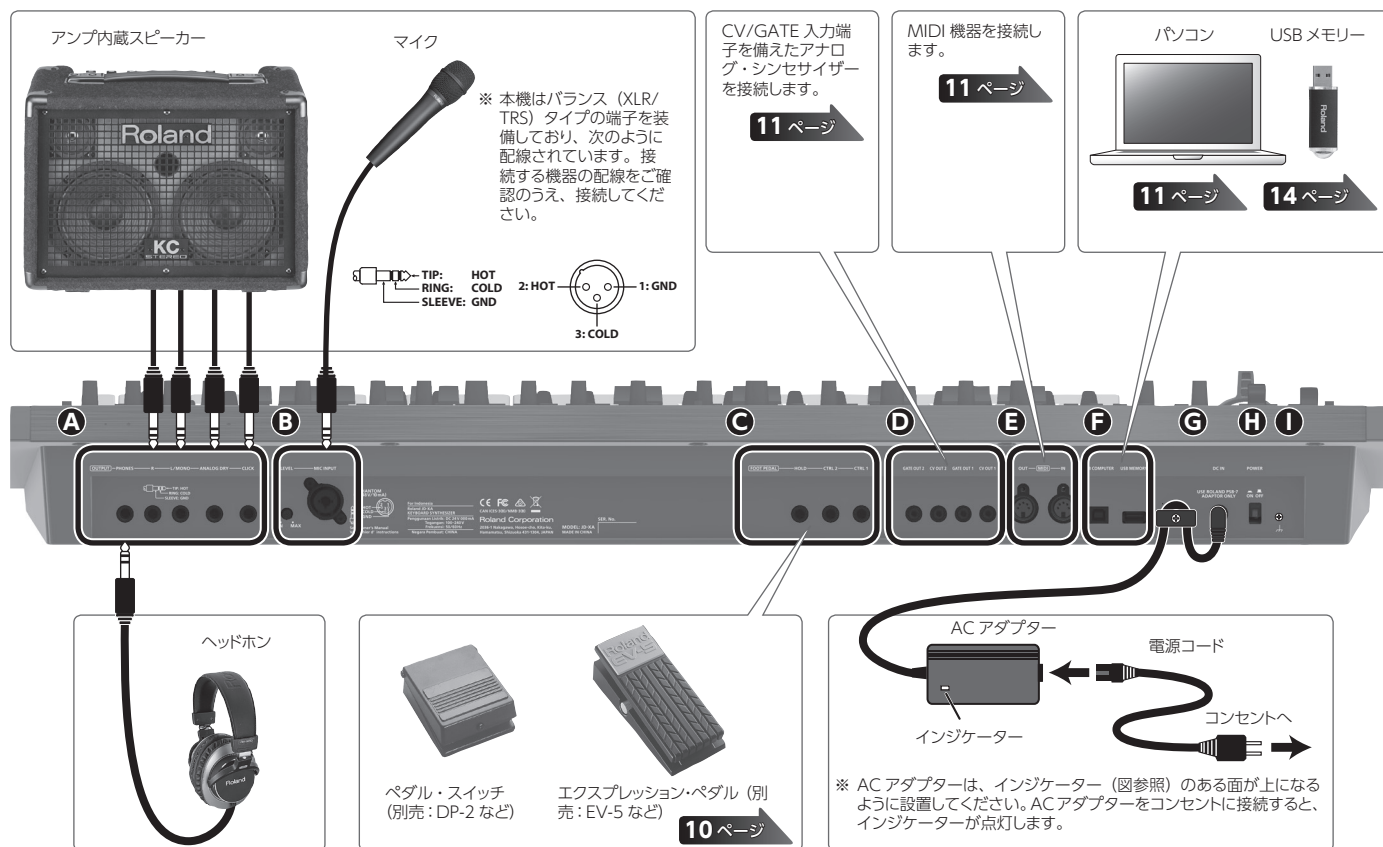
鍵盤の演奏やつまみの操作を記録し、繰り返し再生することができます。

⑦ TEMPO

アルペジオやパターン・シーケンサーのテンポを決めます。

操作子	説明
TEMPO ディスプレイ	テンポの値を表示します。
[Tap] ボタン	設定したいテンポの 4 分音符のタイミングで [Tap] ボタンを 3 回以上押すと、テンポを変更することができます。
[TEMPO] つまみ	テンポを設定します。

リア・パネル



※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

A OUTPUT 端子

端子	説明
PHONES 端子	ヘッドホンをつなぎます。
L/MONO, R 端子	アンパ内蔵スピーカーをつなぎます。モノラルで出力するときは L/MONO 端子につなぎます。
ANALOG DRY 端子	アナログ・パートのドライ音 (エフェクトなし) を出力します。
CLICK 端子	メトロノームのクリック音を出力します。

B MIC INPUT

10 ページ

操作子/端子	説明
[LEVEL] つまみ	MIC INPUT 端子の入力レベルを調節します。
MIC INPUT 端子	マイクを接続します。MIC INPUT 端子は XLR タイプと TRS タイプのプラグに対応しています。また XLR タイプは、ファンタム電源 48V に対応しており、ファンタム電源対応のコンデンサー・マイクを接続することができます (ファンタム電源: DC 48V、10mA Max)。

C FOOT PEDAL 端子

10 ページ

端子	説明
HOLD 端子	ペダル・スイッチ (別売: DP-2 など) を接続して、ホールド・ペダルとして使います。
CTRL 1/2 端子	エクスプレッション・ペダル (別売: EV-5) やペダル・スイッチ (別売: DP-2 など) を接続して、さまざまなパラメーターや機能をコントロールすることができます。

※ エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のもの (別売: EV-5) をお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

D CV/GATE 端子

11 ページ

端子	説明
GATE OUT 1/2 端子	ノート・オン/オフを出力します。+5V を出力します。
CV OUT 1/2 端子	ピッチを出力します。トランスポーズやオクターブ・シフトが設定されているときは、設定に応じて電圧が変化します。OCT/V に対応しています (Hz/V には非対応)。

E MIDI 端子 (IN/OUT)

11 ページ

他の MIDI 機器と MIDI メッセージの送受信をするときに接続します。

F USB 端子

端子	説明
USB COMPUTER 端子	市販の USB2.0 ケーブルでパソコンに接続することで、USB MIDI でパソコンの DAW に同期したり、USB オーディオで JD-XA の音を DAW に録音したりすることができます。 → [USB でパソコンとつなぐ] (P.11)
USB MEMORY 端子	USB メモリーを接続します。USB メモリーにはプログラムの保存やデータのバックアップができます。 → [USB メモリーを使ってデータのバックアップと復元をする] (P.15) ※ ローランドが販売している USB メモリーを使用してください。他の製品を使用したときの動作は保証できません。

G DC IN 端子

付属の AC アダプターを接続します。

※ AC アダプターのコードは、図のようにコード・フックに固定してください。誤ってコードを引っ張ってしまっても、プラグが抜けて電源が切れてしまうことや、端子に無理な力がかかることを防ぐことができます。

H [POWER] スイッチ

電源をオン/オフします。

→ [電源を入れる/切る] (P.4)

I 機能接地端子

設置条件によっては、本機や本機に接続した機器 (マイクやギターなど) の金属部に触れると、ビリビリとした感じがする場合があります。これは人体にまったく害のない極めて微量の帯電によるものですが、気になるかたは接地端子 (図参照) を使って外部のアースが大地に接地してお使いください。このとき、わずかにハム (うなり) が混じる場合があります。なお、接続方法がわからないときはローランドお客様相談センターにご相談ください。

接続してはいけないところ

- 水道管 (感電の原因になります)
- ガス管 (爆発や引火の原因になります)
- 電話線のアースや避雷針 (落雷のとき危険です)

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

はじめに

電源を入れる／切る

- ※ 正しく接続したら (P.3)、必ず次の手順で電源を入れてください。手順を間違えると、誤動作をしたり故障したりすることがあります。
- ※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

1. 電源を入れる前に次のことを確認してください。

- スピーカーやヘッドホンが正しく接続されていますか？
- 接続している機器の電源がオフになっていますか？

2. トップ・パネルの MASTER [Volume] つまみを左いっぱいまで回します。

3. リア・パネルの [POWER] スイッチをオンにします。

- ※ 本機は回路保護のため、電源をオンにしてからしばらくは動作しません。

4. 接続している機器の電源を入れて、音量を適当な位置まで上げます。

電源を切る

1. 電源を切る前に、次のことを確認します。

- 接続している機器の音量は最小になっていますか？
- 作った音やパターンは保存しましたか？

2. 接続している機器の電源をオフにします。

3. 本機の [POWER] スイッチをオフにします。

オート・オフ機能について

- ※ 本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます (Auto Off 機能)。
自動的に電源が切れないようにするには、Auto Off 機能を解除してください。
⇒ 「一定時間がたつと自動で電源が切れるようにする (Auto Off)」 (P.15)

ご注意！

- 電源が切れると編集中の設定は失われます。残しておきたい設定はあらかじめ保存しておいてください。
- 電源を再びオンにするときは、電源を入れ直してください。
⇒ 「電源を入れる／切る」 (P.4)

音色 (プログラム) を選ぶ

プログラム選択画面の見かた

INT:A01
INIT PROGRAM

プログラムは ANALOG PART (4 パート)、DIGITAL PART (4 パート) の合計 8 パートで構成されています。
エディットしたプログラムは、本体メモリー (INT:A01 ~ INT:P16) や USB メモリー (USB:A01 ~ USB:P16) に保存できます。

プログラムを選ぶ

1. [Program Select] ボタンを押して点灯させます。

プログラム選択画面が表示されます。
現在選ばれているプログラム番号に対応した [01] ~ [16] ボタンが点灯します。

2. [01] ~ [16] ボタンを押します。

プログラムが変わります。

保存されている場所 [USB Memory]	バンク [Bank] → [01] (A) ~ [16] (P)	番号 [01] ~ [16]
本体メモリー ([USB Memory] ボタン点灯)	INT:A ~ INT:P	01 ~ 16
USB メモリー ([USB Memory] ボタン点灯)	USB:A ~ USB:P	01 ~ 16

メモ

USB メモリーが接続されていないときは、[USB Memory] ボタンを押してもボタンは点灯しません。

バンクを切り替える

1. プログラム選択画面で、[Bank] ボタンを押して点灯させます。

現在選ばれているバンク番号 (A ~ P) に対応した [01] (A) ~ [16] (P) ボタンが点滅します。



2. [01] (A) ~ [16] (P) ボタンを押します。

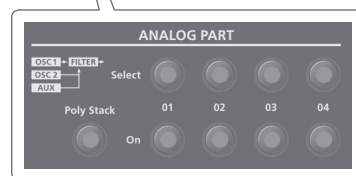
バンクが変わり、[Bank] ボタンは消灯します。

3. [01] ~ [16] ボタンでプログラムを選びます。

パートを選ぶ

アナログ・パートはモノフォニックです。
4 つのモノフォニックのアナログ・パートを [Poly Stack] ボタンで 4 音ポリフォニックにすることができます (P.5)。

ANALOG パートを選ぶ



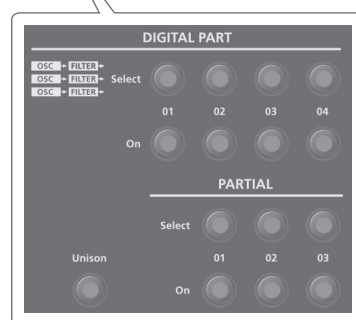
動作	操作
エディット対象のパートを選ぶ	Select [01] ~ [04] ボタンを押して点灯させます。 ボタンを同時に押すと、複数のパートを選ぶことができます。 ANALOG パートと DIGITAL パートを同時に選ぶことはできません。
鍵盤で鳴らすパートを選ぶ	On [01] ~ [04] ボタンを押して点灯させます。 消灯させると音は鳴りません。
パート・ミュート	[Shift] ボタンを押しながら、On [01] ~ [04] ボタンを押します (点滅: ミュート / 点灯: ミュート解除)。 [Shift] ボタンを押している間、ミュートの状態が確認できます。

メモ

アナログ・シンセ・パートはアナログ回路で構成されているため、温度や電源、設置環境の状態によって音が変わることがあります。

DIGITAL パートを選ぶ

デジタル・パートはポリフォニックです。
3 パーシャル構成の SuperNATURAL シンセサイザーを 4 パート使うことができます。



動作	操作
エディット対象のパートを選ぶ	Select [01] ~ [04] ボタンを押して点灯させます。 ボタンを同時に押すと、複数のパートを選ぶことができます。 ANALOG パートと DIGITAL パートを同時に選ぶことはできません。 デジタル・パートは 3 つのパーシャルで構成されています。
鍵盤で鳴らすパートを選ぶ	On [01] ~ [04] ボタンを押して点灯させます。 消灯させると音は鳴りません。
パート・ミュート	[Shift] ボタンを押しながら、On [01] ~ [04] ボタンを押します (点滅: ミュート / 点灯: ミュート解除)。 [Shift] ボタンを押している間、ミュートの状態が確認できます。

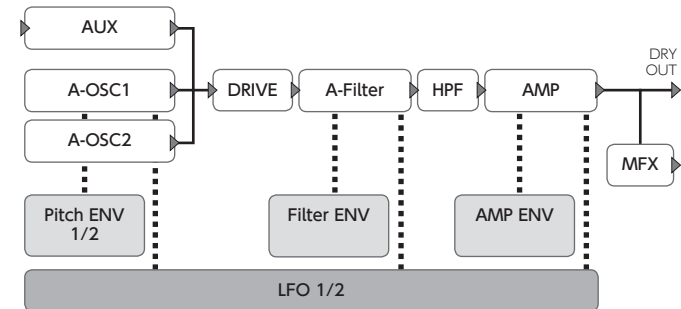
パーシャルを選ぶ (DIGITAL PART のみ)

動作	操作
エディット対象のパーシャルを選ぶ	Select [01] ~ [03] ボタンを押して点灯させます。 ボタンを同時に押すと、複数のパーシャルを選ぶことができます。
パーシャルの音を鳴らす	On [01] ~ [03] ボタンを押して点灯させます。 消灯させると音は鳴りません。

音色（プログラム）のエディット

アナログ・パートのエディット

ANALOG PART



→ 全体の構成について詳しくは、表紙の裏に記載の「JD-XA Structure Diagram」をご覧ください。

操作子を動かすと、対象となるパラメーターが画面に表示されます（操作子に合わせて値が変わります）。
[Exit] ボタンを押しながら操作子を動かすと、値を変えずにパラメーターを表示するので、現在の値を確認することができます。



ANALOG PART

操作子	説明
Select [01] ~ [04] ボタン	パネル操作の対象となるパートを選びます。
On [01] ~ [04] ボタン	鍵盤で鳴らすパートを選びます。
[Poly Stack] ボタン	ANALOG PART の 4 パートを 1 つにまとめて、4 音 Poly として使用します。 ポリ・スタックがオンのときは、1 パートのみ On になります。 On [01] ~ [04] ボタンで、ポリ・スタックで使用するパートを選びます。
[Unison] ボタン	ユニゾンにします。ポリ・スタックがオンのときのみ有効です。

LFO

操作子	説明
波形つまみ	LFO の波形を選びます。 ～ (三角波)、～ (正弦波)、M (のこぎり波)、□ (矩形波)、∩ (サンプリング&ホールド)、RND (ランダム波)
[Rate] つまみ	LFO のうねりの速さを決めます。 ※ [Tempo Sync] ボタンをオンにすると、LFO のうねりの速さをテンポに対する音符の長さで決めることができます。
[Select] ボタン	エディットする LFO の対象を選びます。 LFO1 (消灯)、LFO2 (点灯)
[Tempo Sync] ボタン	LFO のうねりの速さをテンポに同期させます。
[Fade Time] スライダー	音を鳴らしてから LFO の振幅が最大になるまでの時間を設定します。
[Pitch Depth] スライダー	A-OSC のピッチを変化させます (ビブラート)。
[Filter Depth] スライダー	FILTER のカットオフ周波数を変化させます (ワウ)。
[Amp Depth] スライダー	AMP の音量を変化させます (トレモロ)。

A-OSC1

操作子	説明
波形つまみ	オシレーターの波形を選びます。 M (のこぎり波)、□ (矩形波)、▤ (非対称矩形波)、～ (三角波)、～ (正弦波)、Variation (A-OSC では使用しません)
[Variation] ボタン	アナログ・パートでは使用しません。
[PWM] スライダー	オシレーターの波形に ▤ (非対称矩形波) 選択時：PW にかける LFO のモジュレーション量を設定します。
[PW] スライダー	オシレーターの波形に ▤ (非対称矩形波) 選択時：パルス・ウィズを設定します。
[Pitch] つまみ	オシレーターのピッチを設定します。
[Fine] つまみ	オシレーターのピッチを細かく設定します。
[Cross Mod] つまみ	A-OSC2/AUX の波形で A-OSC1 の周波数を変化させる量を設定します。
[Ring Mod] ボタン	A-OSC1 と A-OSC2/AUX を掛け合わせることで、金属的な音質に変化させます。
[Mod Source] ボタン	モジュレーションの元になる波形 (A-OSC2/AUX) を選びます。

A-OSC2

操作子	説明
波形つまみ	オシレーターの波形を選びます。 M (のこぎり波)、□ (矩形波)、▤ (非対称矩形波)、～ (三角波)、～ (正弦波)
[PWM] スライダー	オシレーターの波形に ▤ (非対称矩形波) 選択時：PW にかける LFO のモジュレーション量を設定します。
[PW] スライダー	オシレーターの波形に ▤ (非対称矩形波) 選択時：パルス・ウィズを設定します。
[Pitch] つまみ	オシレーターのピッチを設定します。
[Fine] つまみ	オシレーターのピッチを細かく設定します。
[OSC Sync] ボタン	A-OSC2 の周期に合わせて、A-OSC1 を強制的に周期の始めに戻すことにより複雑な波形を作ります。

PITCH ENV

操作子	説明
[Depth] つまみ	ピッチの変化する方向と量を決めます。
[Select] ボタン	ピッチ・エンベロープのエディット対象を選びます。
[A] スライダー	AMP セクションの [A] [D] スライダーと同様のはたらきをします (音量ではなくピッチが変化します)。
[D] スライダー	AUX の音量を設定します。

MIXER

操作子	説明
[A-OSC 1] つまみ	A-OSC1 の音量を設定します。
[A-OSC 2] つまみ	A-OSC2 の音量を設定します。
[AUX] つまみ	AUX の音量を設定します。
[Select] ボタン	AUX のソースを設定します。 White Noise, Pink Noise, Digital Part, MIC ※ AUX のソースに選べるデジタル・パートは、アナログ・パートと同じパート番号が選択されます。他のパートを選ぶことはできません。

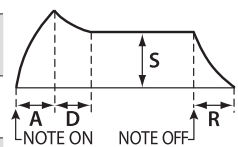
アナログ・パート	選ばれるデジタル・パート
アナログ・パート 01	デジタル・パート 01
アナログ・パート 02	デジタル・パート 02
アナログ・パート 03	デジタル・パート 03
アナログ・パート 04	デジタル・パート 04

FILTER

操作子	説明
[HPF] つまみ	ハイ・パス・フィルターのカットオフを設定します。
[Drive] つまみ	ドライブを設定します。
フィルター・タイプ選択つまみ	フィルター・タイプを設定します。 LPF1 ~ 3 (Low Pass Filter)、HPF (High Pass Filter)、BPF (Band Pass Filter)
[Variation] ボタン	アナログ・パートでは使用しません。
[Cutoff] つまみ	カットオフを設定します。
[Resonance] つまみ	レゾナンスを設定します。
[Key Follow] つまみ	弾く鍵盤によってフィルターのカットオフ周波数を変化させます。 つまみを右に回すと、高音になるのにしたがってカットオフが上がります。 つまみを左に回すと、高音になるのにしたがってカットオフが下がります。
[ENV Depth] つまみ	カットオフ周波数の変化する方向と量を決めます。
[A] スライダー	AMP セクションの [A] [D] [S] [R] スライダーと同様のはたらきをします (音量ではなくカットオフ周波数が変化します)。
[D] スライダー	
[S] スライダー	
[R] スライダー	

AMP

操作子	説明
[Level] つまみ	AMP Level を設定します。
[A] スライダー (アタック・タイム)	鍵盤を押さえてから、音量が最大になるまでの時間を決めます。
[D] スライダー (ディケイ・タイム)	音量が最大になってから、サステイン・レベルに下がるまでの時間を決めます。
[S] スライダー (サステイン・レベル)	アタック・タイムとディケイ・タイムが過ぎてから鍵盤を離すまでの間の音量を決めます。
[R] スライダー (リリース・タイム)	鍵盤を離してから、音量が最小になるまでの時間を決めます。



EFFECTS

→ 「エフェクトのエディット」(P.6)

メモ

- プログラムがエディットされた状態のときは、プログラム・ナンバーのドットが点灯します。
- エディットしたサウンドは、プログラムに保存します。
→ 「プログラムの保存 (Write)」(P.7)
- 操作子を使わずに設定できるパラメーターもあります。
→ 詳しくは、『パラメーター・ガイド』(PDF) をご覧ください。



English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

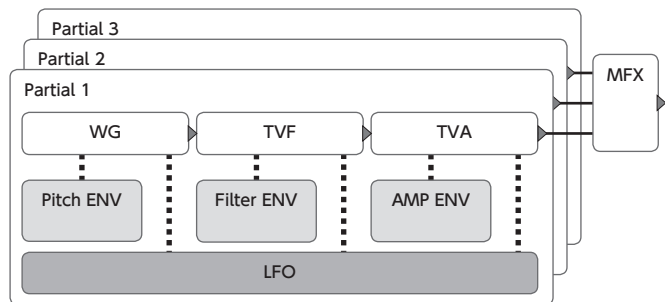
Español

Português

Nederlands

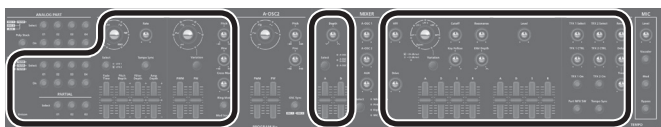
デジタル・パートのエディット

DIGITAL PART (SuperNATURAL Synth)



→ 全体の構成について詳しくは、表紙の裏に記載の「JD-XA Structure Diagram」をご覧ください。

操作子を動かすと、対象となるパラメーターが画面に表示されます (操作子に合わせて値が変わります)。
[Exit] ボタンを押しながら操作子を動かすと、値を変えずにパラメーターを表示するので、現在の値を確認することができます。



※ デジタル・パートは A-OSC2、MIXER セクションは使用しません。

DIGITAL PART

操作子	説明
Select [01] ~ [04] ボタン	パネル操作の対象となるパートを選びます。
On [01] ~ [04] ボタン	鍵盤で鳴らすパートを選びます。
[Unison] ボタン	ユニゾンで鳴らします。

PARTIAL

操作子	説明
Select [01] ~ [03] ボタン	パネル操作の対象となるパーシャルを選びます。
On [01] ~ [03] ボタン	発音するパーシャルを選びます。

LFO

操作子	説明
波形つまみ	LFO の波形を選びます。 ∧ (三角波)、~ (正弦波)、M (のこぎり波)、□ (矩形波)、⏏ (サンプル&ホールド)、RND (ランダム波)
[Rate] つまみ	LFO のうねりの速さを決めます。 ※ [Tempo Sync] ボタンをオンにすると、LFO のうねりの速さをテンポに対する音符の長さで決めることができます。
[Select] ボタン	デジタル・パートでは使用しません。
[Tempo Sync] ボタン	LFO のうねりの速さをテンポに同期させます。
[Fade Time] スライダー	音を鳴らしてから LFO の振幅が最大になるまでの時間を設定します。
[Pitch Depth] スライダー	音のピッチを変化させます (ビブラート)。
[Filter Depth] スライダー	FILTER のカットオフ周波数を変化させます (ワウ)。
[Amp Depth] スライダー	AMP の音量を変化させます (トレモロ)。

D-OSC

操作子	説明
波形つまみ	オシレーターの波形を選びます。 M (のこぎり波)、□ (矩形波)、◻ (非対称矩形波)、∧ (三角波)、~ (正弦波)、Variation ([Variation] ボタンを押して、[-] [+] ボタンでバリエーション波形を選びます)
[Variation] ボタン	オシレーターの波形をバリエーション波形にします。
[PWM] スライダー	オシレーターの波形に ◻ (非対称矩形波) 選択時: PW にかける LFO のモジュレーション量を設定します。
[PW] スライダー	オシレーターの波形に ◻ (非対称矩形波) 選択時: パルス・ウィズを設定します。 オシレーターの波形に SuperSaw 選択時: デチューンを設定します。
[Pitch] つまみ	オシレーターのピッチを設定します。
[Fine] つまみ	オシレーターのピッチを細かく設定します。

操作子	説明
[Cross Mod] つまみ	デジタル・パートでは使用しません。
[Ring Mod] ボタン	Partial 1 の OSC と Partial 2 の OSC を掛け合わせることで複雑な波形を作ります。
[Mod Source] ボタン	デジタル・パートでは使用しません。

PITCH ENV

操作子	説明
[Depth] つまみ	ピッチの変化する方向と量を決めます。
[Select] ボタン	デジタル・パートでは使用しません。
[A] スライダー	ANALOG PART の PITCH ENV の [A] [D] スライダーと同様のはたらきをします。
[D] スライダー	

FILTER

操作子	説明
[HPF] つまみ	ハイ・パス・フィルターのカットオフを設定します。
[Drive] つまみ	デジタル・パートでは使用しません。
フィルター・タイプ 選択つまみ	フィルター・タイプを設定します。 フィルターの傾き (スロープ) はインジケーターで確認できます。 -12/oct (消灯)、-24dB/oct (点灯)
[Variation] ボタン	フィルター・タイプのバリエーション・タイプを選びます。
[Cutoff] つまみ	カットオフを設定します。
[Resonance] つまみ	レゾナンスを設定します。
[Key Follow] つまみ	弾く鍵盤によってフィルターのカットオフ周波数を変化させます。
[ENV Depth] つまみ	カットオフ周波数の変化する方向と量を決めます。
[A] スライダー	
[D] スライダー	ANALOG PART の FILTER の [A] [D] [S] [R] スライダーと同様のはたらきをします。
[S] スライダー	
[R] スライダー	

AMP

操作子	説明
[Level] つまみ	AMP Level を設定します。
[A] スライダー	
[D] スライダー	ANALOG PART の AMP の [A] [D] [S] [R] スライダーと同様のはたらきをします。
[S] スライダー	
[R] スライダー	

EFFECTS

→ 「エフェクトのエディット」(P.6)

メモ

- プログラムがエディットされた状態のときは、プログラム・ナンバーのドットが点灯します。
- エディットしたサウンドは、プログラムに保存します。
→ 「プログラムの保存 (Write)」(P.7)
- 操作子を使わずに設定できるパラメーターもあります。
→ 詳しくは、「パラメーター・ガイド」(PDF) をご覧ください。



エフェクトのエディット

→ 全体の構成について詳しくは、表紙の裏に記載の「JD-XA Structure Diagram」をご覧ください。

操作子	説明
[TFX 1/2 Select] つまみ	TFX1/2 のエフェクトのタイプを選びます。
[TFX 1/2 CTRL] つまみ	TFX1/2 をグローバル・コントロールします。 グローバル・コントロールは、つまみ 1 つで、エフェクトを構成する複数のパラメーターをコントロールすることができる機能です。
[TFX 1/2 On] ボタン	TFX1/2 のオン/オフを切り替えます。
[Reverb] つまみ	Reverb の音量を設定します。
[Delay] つまみ	Delay の音量を設定します。
Delay [Time] つまみ	Delay Time を設定します。
[Part MFX SW] ボタン	Part MFX のオン/オフを切り替えます。
[Tempo Sync] ボタン	Part MFX、Delay をテンポに同期させます。 [Off] の場合は、各エフェクトの Tempo Sync 設定にしたいがいます。

→ パラメーターについて詳しくは「パラメーター・ガイド」(PDF) をご覧ください。

メモ

- エフェクト設定はプログラムに保存します。
→ 「プログラムの保存 (Write)」(P.7)

音色を初期化する (Init)

プログラム、パート、パーシャル、パターンを設定を初期化します。

1. [Shift] ボタンを押しながら、[Program Select/Init] ボタンを押します。
INIT 画面が表示されます。
2. カーソル [◀] [▶] ボタンと [-] [+] ボタンで初期化する対象を選びます。

初期化する対象 [-] [+]	説明
PROGRAM	プログラム設定
PART	パート設定 (MFx、MIDI チャンネル含む)
PARTIAL	パーシャル設定 (DIGITAL PART 選択時)
PATTERN	パターン

3. [Enter] ボタンを押します。
確認画面が表示されます。
キャンセルする場合は、[Exit] ボタンを押します。
4. [Enter] ボタンを押します。
「Completed!」という画面が出て初期化が実行されます。

音色やパターンをコピーする (Copy)

他のプログラムに保存したパート、パーシャル、パターンや INTEGRA-7、FA-06/08 のトーンをコピーします。

1. [Shift] ボタンを押しながら、[Bank] (Copy) ボタンを押します。
COPY 画面が表示されます。
2. カーソル [◀] [▶] ボタンでコピーする対象を選び、[Enter] ボタンを押します。

コピーする対象 カーソル [◀] [▶]	説明
Part	パート設定 (MFx を含む、MIDI チャンネルを除く)
Partial	パーシャル設定 (デジタル・パートを選んでいるときのみ)
Pattern	パターン
Tone	トーン (USB メモリーを接続しているときのみ) トーンのコピーについて INTEGRA-7 や FA-06/08 の「SuperNATURAL シンセ・トーン」を JD-XA のデジタル・パートで使うことができます。 INTEGRA-7 や FA-06/08 の「SuperNATURAL シンセ・トーン」のデータを USB メモリーにエクスポート/保存します。そのデータを JD-XA にインポートすることをトーンのコピーといいます。 インポートするデータは USB メモリーの IMPORT フォルダに保存してください。 → 詳しくは、「USB メモリーのフォルダ構成」(P.14) をご覧ください。

ご注意!

コピーする対象に「Part」を選んだとき、MIDI チャンネルはコピーされません。

3. [-] [+] ボタンでコピー元になるデータを選び、[Enter] ボタンを押します (Source 選択)。
選んだコピー対象に応じてパラメーターが変わります。
必要な回数分この操作を繰り返します。

メモ

パラメーターに応じて、[Bank]、[01] ~ [16]、各パートの Select [01] ~ [04]、Partial [01] ~ [03] ボタンも使えます。

4. [-] [+] ボタンでコピー先を選び、[Enter] ボタンを押します (Destination 選択)。
選んだコピー対象に応じてパラメーターが変わります。
必要な回数分この操作を繰り返します。

メモ

パラメーターに応じて、各パートの On [01] ~ [04]、Partial [01] ~ [03] ボタンも使えます。

5. [Enter] ボタンを押します。
確認画面が表示されます。
キャンセルする場合は、[Exit] ボタンを押します。
6. [Enter] ボタンを押します。
「Completed!」という画面が出てコピーが実行されます。

プログラムの保存 (Write)

作った音は、つまみを動かしたり、別のプログラムを選んだりすると変わってしまいます。また、JD-XA の電源を切ると消えてしまいます。
気に入った音ができあがったら、プログラムとして保存しましょう。

1. [Write] ボタンを押します。
2. カーソル [◀] [▶] ボタンで「PROGRAM」を選び、[Enter] ボタンを押します。
名前入力画面が表示されます。

PROG NAME: [Ent]
INIT PROGRAM

3. カーソル [◀] [▶] ボタンと [-] [+] ボタンで文字を変更します。
4. 名前設定が終わったら [Enter] ボタンを押します。
5. [-] [+] ボタンで保存先を選びます。
USB メモリーに保存する場合は、[USB Memory] ボタンを押して点灯させます。
[Bank]、[01] ~ [16] ボタンでも保存先を選べます。
※ すでにデータの保存されている番号を指定した場合は、下段にプログラム名が表示されます。この番号に保存するとプログラムは上書きされ、以前のデータは消去されます。
6. [Enter] ボタンを押します。
確認画面が表示されます。
キャンセルする場合は、[Exit] ボタンを押します。
7. [Enter] ボタンを押します。
「Completed!」という画面が出て保存されます。
※ 保存中は、絶対に電源を切らないでください。

お気に入りの音色 (プログラム) を使う (Favorite)



操作子	説明
[Favorite] ボタン	お気に入り音色 (プログラム) を登録したり呼び出したりします。
[01] ~ [16] ボタン	Favorite 01 ~ 16 を選びます。
[Bank] ボタン	Favorite のバンク (A ~ P) を選びます。

Favorite を呼び出す

1. [Favorite] ボタンを押して点灯させます。
[01] ~ [16] ボタンがフェイバリット選択ボタンになります。
2. [01] ~ [16] ボタンを押してフェイバリット音色を選びます。
登録されていないボタンを押すと、画面に「Not Registered!」と表示されます。

フェイバリット・バンクを変える

1. [Favorite] ボタンが点灯しているとき、[Bank] ボタンを押します。
現在選ばれているバンク番号 (A ~ P) に対応した [01] (A) ~ [16] (P) ボタンが点滅します。
2. [01] (A) ~ [16] (P) ボタンを押します。
バンクが変わり、[Bank] ボタンは消灯します。
3. [01] ~ [16] ボタンでフェイバリットを選びます。

Favorite を登録する

1. フェイバリットに登録したいプログラムを選びます。
2. [Favorite] ボタンを押して点灯させます。
3. 登録先にしたいバンクを選びます。
→ 「フェイバリット・バンクを変える」(P.7)
4. [Favorite] ボタンを押しながら、登録したいフェイバリット番号 ([01] ~ [16] ボタン) を押します。
現在選んでいるプログラムが登録されます。
[Favorite] ボタンを押している間、フェイバリットが登録されている [01] ~ [16] ボタンは点灯し、登録されていないボタンは点滅します。

ご注意!

エディットしたプログラムは、先にプログラムを保存してからフェイバリットに登録してください。
→ 「プログラムの保存 (Write)」(P.7)

Favorite を消去する

1. Menu 画面から「FAVORITE UTIL」を選び、[Enter] ボタンを押します。
[Shift] ボタンを押しながら、[Favorite] ボタンを押しても FAVORITE UTIL 画面が表示されます。
2. カーソル [◀] [▶] ボタンでフェイバリット・バンクを選びます。
3. [-] [+] ボタンで消去するフェイバリットを選びます。
[01] ~ [16] ボタンでも選べます。
4. [Enter] ボタンを押すと、表示しているフェイバリット情報を削除します。

録音する（パターン・シーケンサー）

鍵盤の演奏やつまみの操作を記録し、繰り返し再生することができます。録音するときは、現在選ばれているパートが録音されます。



操作子	説明
[Scale] ボタン	1 ステップの長さを変更します。ボタン左のインジケーターで確認します。 • [01] ~ [12] ボタンを 2 拍分の録音範囲とし、3 連 16 分音符を入力できます。 • [01] ~ [12] ボタンを 1 小節分の録音範囲とし、3 連 8 分音符を入力できます。 • [01] ~ [16] ボタンを 2 拍分の録音範囲とし、32 分音符を入力できます。 • [01] ~ [16] ボタンを 1 小節分の録音範囲とし、16 分音符を入力できます。
[Erase] ボタン	録音したパターンやパターンの一部を消去します。
[Step REC] ボタン	鍵盤の演奏をステップごとに順番に録音します。
[Pattern Length] ボタン	パターンの小節数を変更します。パターンは最大 4 小節まで作成できます。 • [01] ~ [04] ボタンで長さを指定します。 • Scale の設定によっては [01] ~ [08] ボタンで長さを指定します。
[Play] ボタン	パターンを再生、停止します。
[Real Time REC] ボタン	鍵盤やコントローラーの演奏をリアルタイムに録音して、パターンを作成します。

リアルタイム録音（Real Time REC）

鍵盤やコントローラーの演奏をリアルタイムに録音して、パターンを作成します。選んでいるパターンに重ねて録音します。

1. ANALOG PART または DIGITAL PART の On [01] ~ [04] ボタンで録音するパートをオンにします。

2. [Real Time REC] ボタンを押します（REC STANDBY）。

3. リアルタイム録音の設定をします。

カーソル [◀] [▶] ボタンでパラメーターを選び、[-] [+] ボタンで設定を変更することができます。

パラメーター	説明
カーソル [◀] [▶]	
Cnt In (Count In)	
※ REC STANDBY 中のみ表示されます。	録音の開始方法を選びます。 OFF、1 MEAS、2 MEAS、WAIT NOTE
Input Qtz (Input Quantize)	鍵盤での演奏タイミングのズレを自動的に直して、正確なタイミングに修正するための機能がフォンタイズです。リアルタイム・レコーディング時にフォンタイズしながら録音することができます。フォンタイズをしながら録音するかどうかを設定します。 OFF、GRID（グリッド）、SHFL（シャッフル）
Reso (Resolution)	フォンタイズのタイミングを音符で設定します。 GRID：1/32 (F) ~ 1/4 (J) SHFL：1/16 (F) ~ 1/8 (J)
Strength	グリッド・フォンタイズをするときの設定です。Reso で指定した音符に対する補正の度合いを設定します。「100%」に設定すると、Reso のタイミングにきっちり補正されます。値を下げるほど補正される度合いが下がり、「0%」にするとまったく補正されません。 0 ~ 100%
Rate	シャッフル・フォンタイズをするときの設定です。「50%」のときは等間隔で音が鳴り、値が大きくなるにつれて、付点音符のような弾んだ感じになります。
Loop Rec	演奏を録音したあと、次のループに移るときに Real Time REC 状態を終了するか（OFF）、Real Time REC 状態を続けるか（ON）を設定します。
Tempo Rec	テンポ変化を記録するか（ON）、記録しないか（OFF）を設定します。
Click Switch	クリック音のオン/オフを設定します。

➔ パラメーターについて詳しくは、『パラメーター・ガイド』（PDF）をご覧ください。

4. [Play] ボタンを押して、録音を開始します。

再生中に、[Real Time REC] ボタンを押して、録音を始めることもできます。

5. 鍵盤を演奏します。

つまみやホイールの操作も記録されます。

6. [Real Time REC] ボタンを押して録音を終了します。

クリックの設定をする

1. [Menu] ボタンを押します。

2. [SYSTEM] を選び、[Enter] ボタンを押します。

3. CLICK パラメーター（P.13）を選び、[-] [+] ボタンで値を変更します。

4. [Exit] ボタンを何回か押してトップ画面に戻ります。

必要に応じてシステム・パラメーターを保存してください。

➔ 「システム設定を保存する」（P.14）

フレーズの一部分だけ消去する

1. 再生中／録音中に [Erase] ボタンを押します（Erase Mode）。

ボタンが点灯して消去できる状態になり、Erase 画面が表示されます。

2. [-] [+] ボタンで消去する対象を選び [Enter] ボタンを押します。

ボタンを押している間、消去対象を消去します。

メモ

Erase Mode のとき、鍵盤を押している間は押している鍵盤の音を消去します。

2 つの鍵盤を押さえると、はさまれた鍵域の音をすべて消去できます。

3. もう一度 [Erase] ボタンを押します。

ボタンが消灯して元の状態に戻ります。

テンポを変更する

➔ 「TEMPO」（P.2）

メモ

テンポは、プログラムごとに保存します。

➔ 「プログラムの保存（Write）」（P.7）

ステップ録音（Step REC）

鍵盤の演奏をステップごとに順番に録音してパターンを作成します。

選んでいるパターンに置き換えて録音します。

操作子	説明
[01] ~ [16] ボタン	録音中のステップに対応したボタンが点滅します。

1. ANALOG PART または DIGITAL PART の On [01] ~ [04] ボタンで録音するパートを選びます。

2. [Step REC] ボタンを押します。

[01] ボタンが点滅します。

録音を停止するまで以下の画面が表示されます。



カーソル [◀] [▶] ボタンでパラメーターを選び、[-] [+] ボタンで値を変更できます。

パラメーター	設定値
カーソル [◀] [▶]	[-] [+]
Type（ノート・タイプ）	入力する音符の長さを設定します。
Gate Time（音の長さ）	ノート・タイプに対する割合で設定します。 5 ~ 200%
Velocity（鍵盤の強弱）	Real（実際に演奏している強さ）、 1 ~ 127（一定の強さに固定）

3. 鍵盤を 1 回弾きます。

ステップ 1 に演奏が記録され、自動的に次のステップに進み [02] ボタンが点滅します。

複数の音を選ぶと、和音の録音ができます。

4. 手順 3 の操作を繰り返し、ステップごとに録音します。

メモ

• ステップのデータを消したい（または休符を入れたい）ときは、[Erase] ボタンを押します。

• タイを入れたいときは、[Enter] ボタンを押します。

• 録音するステップを変更したいときは、[01] ~ [16] ボタンを押します。

• 小節数を変更したいときは、[Pattern Length] ボタンを押したあと、[01] ~ [04] ボタンで長さを指定します（スケールの設定によっては [01] ~ [08] で長さを指定します）。

5. [Step REC] ボタンを押して録音を終了します。

ステップ録音 2（Step REC 2）

再生／停止中に [01] ~ [16] のボタンを使用して、選んだステップに録音することができます（ステップ録音 2）。

1. [Step REC] ボタンを 2 回押して、Step REC 状態をオフします。

2. ANALOG PART または DIGITAL PART の On [01] ~ [04] ボタンで録音するパートを選びます。

3. 録音する音を鍵盤で弾いてから、[01] ~ [16] ボタンでステップをオンにします。

メモ

• 鍵盤を弾きながら [01] ~ [16] ボタンを押しても指定したステップに録音することができます。

• [01] ~ [16] ボタンを押しながらつまみを操作すると、つまみの最後の状態を指定したステップに録音することができます。

• つまみの操作は PART Select で選ばれたパートに録音されます。

パターンを再生する

1. [Play] ボタンを押します。
再生中は以下の操作ができます。

機能	操作	説明
パート・ミュート	[Shift] + 各パートの Select [01] ~ [04] ボタン	パターン再生中に選んだパートをミュートします (複数パート選択可能)。
Realtime Erase	1. [Erase] ボタンを押す 2. 削除するパートを On にする 3. [-] [+] で削除対象を選択 4. [Enter] ボタンを押してる間データが削除される	再生中に [Erase] ボタンを押すと Erase Mode に入ります。

2. 停止するとき、もう一度 [Play] ボタンを押します。

メモ

16Step を超えるパターンの場合、[Shift] ボタンを押しながら、[01] ~ [04] ボタンを押して小節・拍の位置を変更します (スケールの設定によっては [Shift] ボタン + [01] ~ [08] ボタン)。

パターンを一括消去する (Pattern Erase)

パターンを一括消去します。

1. [Shift] ボタンを押しながら、[Erase] ボタンを押します。
Erase 画面が表示されます。
2. [-] [+] ボタンで消去する対象を選びます。

設定値 [-] [+]	説明
All	パターンの内容をすべて消去します。
Track	選んだトラックのデータのみ消去します。
SysEx	システム・エクスクルーシブのみ消去します。
Tempo	テンポのみ消去します。

3. [Enter] ボタンを押します。
消去が実行されます。

アルペジオ演奏をする



[Arpeggio] ボタンを押して、ボタンを点灯させると、アルペジオ機能が On になります。
「アルペジオ」とは、和音を分散して鳴らす演奏方法です。

アルペジオのテンプレートを選ぶ

1. [Arpeggio] ボタンを押します。
Arpeggio が On になり、ARPEGGIO 画面が表示されます。
[Shift] ボタンを押しながら [Arpeggio] ボタンを押すと、On / Off を変えずに ARPEGGIO 画面を表示します。
2. カーソル [◀] [▶] ボタンで [Select Template] を選び、[Enter] ボタンを押します。
3. [-] [+] ボタンでアルペジオのテンプレートを選び、[Enter] ボタンを押します。
4. [Exit] ボタンを押してトップ画面に戻ります。

アルペジオ・パターンのエディット

1. [Shift] ボタンを押しながら、[Arpeggio] ボタンを押します。
アルペジオの On / Off を変えずに ARPEGGIO 画面を表示します。

ARPEGGIO:
Arp Hold OFF

2. カーソル [◀] [▶] ボタンで [Pattern Edit] を選び、[Enter] ボタンを押します。
3. カーソル [◀] [▶] ボタンで [End Step] を選び、ステップ数を設定します。

パターン・ユーティリティ

パターンの出力先の設定や SMF のインポート、エクスポートができます。

1. [Menu] ボタンを押します。
2. [PATTERN UTIL] を選び、[Enter] ボタンを押します。
3. カーソル [◀] [▶] ボタンで実行する機能を選び、[Enter] ボタンを押します。

機能	説明
カーソル [◀] [▶]	
Track Settings	各トラックの出力先を設定します。 INT (JD-XA)、EXT (外部 MIDI 機器)、BOTH (JD-XA と外部 MIDI 機器の両方)、OFF (出力しません) ※ 設定はパターンとともにプログラムに保存されます。
SMF Import	指定した SMF をテンポラリーにインポートします。 ※ インポートすると現在のテンポラリーの状態は破棄されます。 インポートする SMF は USB メモリーの [IMPORT] フォルダに保存してください。 インポートできる SMF : • SMF はフォーマット 0 のみに対応しています。 • SMF は 4 小節までインポートされます。それ以降のデータはインポートされません。 メモ SMF Import 画面で [Play] ボタンを押すことで選んだ SMF を試聴することができます。 → 詳しくは、「USB メモリーのフォルダ構成」(P.14) をご覧ください。
SMF Export	現在のテンポラリーのパターンを、名前を付けて SMF に出力します。

パターンを保存する (Write)

作成したパターンは、別のプログラムを選んだり、JD-XA の電源を切ったりすると消えてしまいます。気に入ったパターンができあがったら、プログラムとして保存しましょう。
パターンはプログラムとして保存されます。
→ 「プログラムの保存 (Write)」(P.7)

4. 入力したいノート・ナンバーを選びます。
鍵盤でノート・ナンバーとベロシティを合わせて設定することもできます。
5. 入力したいベロシティを設定します。
鍵盤でノート・ナンバーとベロシティを合わせて設定することもできます。
6. [01] ~ [16] ボタンで入力したいステップのボタンを On にします。
設定したステップ数を超えるステップは On になりません。

メモ

[Step REC] ボタンを押すと、アルペジオ・スタイルのステップ・レコーディングをすることができます (鍵盤でデータを 1 音ずつ入力します)。

7. [Exit] ボタンを何回か押してトップ画面に戻ります。
この他に、Arp Hold、Motif などのパラメーターがあります。
→ パラメーターについて詳しくは、『パラメーター・ガイド』(PDF) をご覧ください。

アルペジオを保存する (Write)

作成したアルペジオは、別のプログラムを選んだり、JD-XA の電源を切ったりすると消えてしまいます。気に入ったアルペジオができあがったら、プログラムとして保存しましょう。
アルペジオはプログラムとして保存されます。
→ 「プログラムの保存 (Write)」(P.7)

マイクを使う



※ マイクとスピーカーの位置によっては、ハウリング音（キーンという音）が出る場合があります。その場合は、以下のように対処してください。

- マイクの向きを変える
- マイクをスピーカーから遠ざける
- 音量を下げる

ファンタム電源対応のマイクの場合

JD-XA の MIC INPUT 端子はファンタム電源に対応しています。ファンタム電源供給の必要なコンデンサー・マイクを接続したとき以外は、ファンタム電源を必ずオフにしてください。ダイナミック・マイクやオーディオ再生装置などにファンタム電源を供給すると故障の原因になります。マイクの仕様については、お使いのマイクの取扱説明書をお読みください。（本機のファンタム電源：DC 48V、10mA Max）

1. [Menu] ボタンを押します。
2. カーソル [◀] [▶] ボタンで [MIC EDIT] を選び、[Enter] ボタンを押します。MIC 画面が表示されます。
3. カーソル [◀] [▶] ボタンで [Phantom Sw] を選び、[-] [+] ボタンで [ON] を選びます。

メモ

ファンタム電源の設定は本体に記憶されません。電源を切ると [OFF] に戻ります。

入力レベルを調整する

リア・パネルの MIC INPUT 端子に接続したマイクの入力レベルを調節します。

1. リア・パネルの MIC INPUT [Level] つまみで調節します。マイク入力からの信号レベルが大きすぎるときに、トップ・パネルの MIC [Level] つまみのインジケーターが点滅します。

メモ

マイク入力レベルは基本的に調節したあとは固定しておきます。音量の上げ下げをするときはトップ・パネルの MIC [Level] つまみで調節します。

ボコーダーを使う

「ボコーダー」は、人の声にかかるエフェクトのことです。人の声をボコーダーに通すと、抑揚のないロボットのような音声に変化させることができます。ピッチは鍵盤を弾いてコントロールします。

1. [Vocoder] ボタンを押します。
2. MIC VOCODER のパラメーターを設定します。
→ パラメーターについて詳しくは、『パラメーター・ガイド』（PDF）をご覧ください。
3. 鍵盤を弾きながら、マイクに向かって声を出します。

マイクを使ってモジュレーションをかける

モジュレーションは、声を使って演奏している音に変化を付ける機能です。声量の変化で、アナログ・パートのシンセサイザーのパラメーターを変化させることができます。モジュレーションをかけるパラメーターは選択できます。

1. [Mod] ボタンを押します。
2. MIC MOD のパラメーターを設定します。
→ パラメーターについて詳しくは、『パラメーター・ガイド』（PDF）をご覧ください。
3. ANALOG PART の Select [01] ~ [04] ボタンを押して、モジュレーションをかけるパートを選びます。
4. 鍵盤を弾きながら、マイクに向かって声を出します。

マイクに入力した音声を出力する

マイクに入力した音声を出力します。

1. [Bypass] ボタンを押します。
2. MIC REVERB のパラメーターを設定します。
→ パラメーターについて詳しくは、『MIC REVERB』（P.14）をご覧ください。
3. マイクに向かって声を出します。

メモ

MIC REVERB は [Bypass] ボタンがオンのときのみ使うことができます。

演奏をコントロールする

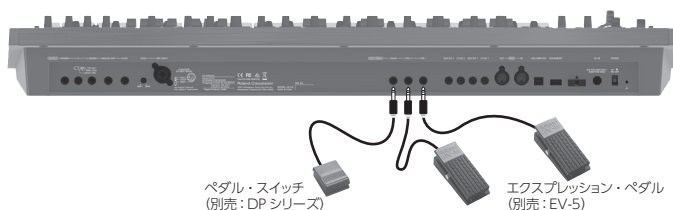
音の高さを変える／ビブラートをかける（ピッチ・ベンド／モジュレーション・レバー）

機能	説明
ピッチ・ベンド	鍵盤を弾きながらレバーを左に倒すとピッチ（音程）が下がり、右に倒すとピッチが上がります。
モジュレーション	レバーを向こう側に倒すと、ビブラートがかかります。各トーンには、トーンに常にかけている LFO と、ピッチ・ベンド／モジュレーション・レバーを向こう側に倒したときにかけるモジュレーションのための MODULATION LFO の 2 つの LFO があります。[Shift] ボタンを押しながらピッチ・ベンド／モジュレーション・レバーを向こう側に倒すと、MODULATION LFO 設定状態になります。 → パラメーターについて詳しくは、『パラメーター・ガイド』（PDF）をご覧ください。

割り当てられた機能でサウンドを変化させる（WHEEL 1 / 2）

操作子	説明
WHEEL 1	WHEEL1/2 Assign で設定したパラメーターをコントロールします。[Shift] ボタンを押しながらホイールを動かすと、WHEEL1/2 の設定画面が表示されます。
WHEEL 2	→ パラメーターについて詳しくは、『パラメーター・ガイド』（PDF）をご覧ください。

外部ペダルを使う（HOLD / CTRL 1 / CTRL 2）



端子	説明
HOLD	ペダル・スイッチ（別売：DP シリーズ）を接続して、ホールド・ペダルとして使います。
CTRL 1	エクスプレッション・ペダル（別売：EV-5）やペダル・スイッチ（別売：DP シリーズ）を接続して、いろいろなパラメーターや機能をコントロールすることができます。
CTRL 2	

外部機器との接続

MIDI コントローラーとして使う

JD-XA の MIDI OUT 端子、USB MIDI OUT から、本体のパネル操作を MIDI メッセージとして出力できます。

1. [MIDI CTRL] ボタンを押します。

鍵盤演奏やパネル操作によって、ANALOG PART、DIGITAL PART とは別の 8 チャンネル（初期値：9 ～ 16 チャンネル）で MIDI メッセージを出力します。

MIDI CTRL オフ時は ANALOG PART、DIGITAL PART のチャンネル設定で出力します。
[MIDI CTRL] ボタンを押すと、パネル操作は MIDI CONTROL PART 01 ～ 08 のチャンネル設定で出力されるようになります（パターン・シーケンサーのメッセージは常時 1 ～ 16 チャンネルで出力します）。
各つまみやスライダーで出力するメッセージや、MIDI コントロール・パートの Ch 設定ができます。

→ 全体の構成について詳しくは、表紙の裏に記載の「JD-XA Structure Diagram」をご覧ください。

ボタンに設定した MIDI メッセージを出力する（Trigger Mode）

あらかじめ [01] ～ [16] ボタンに MIDI メッセージを設定しておいて、設定した MIDI メッセージを MIDI OUT 端子、USB MIDI OUT から出力します。内部音源、シーケンサーには送られません。

1. [Shift] ボタンを押しながら、[MIDI CTRL] ボタンを押します。

Program No. のディスプレイ表示が「**Trig**」となり、トリガー・モードがオンになります。

トリガー・モードのパラメーターが表示されます。

2. [01] ～ [16] ボタンを押すと、設定された MIDI メッセージを出力します。

現在選ばれているパートのチャンネルで出力されます。

※トリガー・モードを OFF にするには、もう一度 [Shift] ボタンを押しながら [MIDI CTRL] ボタンを押します。

トリガー・モード設定を変更する

1. トリガー・モードがオンのとき、[Exit] ボタンを押しながら [01] ～ [16] ボタンを押します。

トリガー・モードで出力するパラメーターが表示されます。

2. カーソル [◀] [▶] ボタンでパラメーターを選び、[-] [+] ボタンで設定を変更します。

ボタン [01] ～ [16]	パラメーター カーソル [◀] [▶]	設定値 [-] [+]	説明
[01] ～ [16]	Assign		設定値を変えると、関連した値を変更できるようになります。
		NOTE	Number: ノート・ナンバー Velocity: ペロシティー
		CC	Number: コントロール・チェンジ・ナンバー On Value: ボタンをオンにしたときの値 Off Value: ボタンをオフにしたときの値
		BEND-DOWN	ピッチ・ベンド・メッセージを出力します。
		BEND-UP	
		AFT	チャンネル・プレッシャーメッセージを出力します。
		PC+BS	MSB: パンク・セレクト MSB LSB: パンク・セレクト LSB PC: プログラム・チェンジ
		LATCH	ボタンを押すたびにオン/オフが切り替わります。
		MOMENTARY	ボタンを押している間オンになります。ボタンから指を離すとオフになります。
	Type (※)		

※ Assign が NOTE、CC、BEND-DOWN、BEND-UP、AFT のときに有効です。

3. [Exit] ボタンを何回か押してトップ画面に戻ります。

トリガー・モード設定はプログラムに保存します。

→ 「プログラムの保存 (Write)」(P.7)

CV / GATE アウトでアナログシンセサイザーとつなぐ

CV/GATE 入力端子を備えたアナログ・シンセサイザーを接続すると、ノート・オン/オフやピッチをコントロールできるようになります。

端子	説明
GATE OUT 1 端子 GATE OUT 2 端子	ノート・オン/オフを出力します。 +5V を出力します。
CV OUT 1 端子 CV OUT 2 端子	ピッチを出力します。 トランスポーズやオクターブ・シフトが設定されているときは、設定に応じて電圧が変化します。 OCT/V に対応しています (Hz/V には非対応)。

→ 設定について詳しくは、「CV/GATE1/2 OUT」(P.13) をご覧ください。

USB でパソコンとつなぐ

USB COMPUTER 端子を使ってパソコンと接続するときに、使用する USB ドライバーを設定します。

ドライバーのダウンロード

本製品を [VENDOR] 設定でお使いになるためには、パソコンで以下の URL からドライバーをダウンロードしてインストールする必要があります。

インストールについて詳しくは、以下の URL をご覧ください。

→ <http://www.roland.co.jp/support/>

ご注意！

ドライバーのインストールが完了する前に、本機を [VENDOR] 設定でパソコンに接続しないでください。

すでに接続している場合は、本機をいったん取りはずしてください。ドライバーのインストールが完了してから、本機を接続してください。

1. [Menu] ボタンを押します。

2. カーソル [◀] [▶] ボタンで [SYSTEM] を選び、[Enter] ボタンを押します。

設定画面が表示されます。

3. カーソル [◀] [▶] ボタンで [USB Drv] を選び、[-] [+] ボタンで値を変更します。

通常は VENDOR 設定 (MIDI とオーディオ) でお使いください。

GENERIC 設定にすると MIDI のみになります。

メニュー [Shift] + カーソル [◀] [▶]	パラメーター カーソル [◀] [▶]	設定値 [-] [+]
GENERAL	USB Drv	VENDOR: ローランドのホームページからダウンロードした USB ドライバーをお使いのときに選びます。
		GENERIC: パソコンに標準添付の USB ドライバーをお使いのときに選びます。

この設定はシステム保存後に本体の電源を入れ直すとき有効になります。

4. [Exit] ボタンを何回か押してトップ画面に戻ります。

5. システム設定を保存します。

→ 「システム設定を保存する」(P.14)

6. JD-XA の電源を入れ直します。

「USB Drv」の設定を変更したら、必ず電源を入れ直してください。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

JD-XA 全体の設定をする

Menu 画面を表示する

1. [Menu] ボタンを押します。
2. カーソル [◀] [▶] ボタンで実行したい項目を選び、[Enter] ボタンを押します。
各項目の設定画面が表示されます。
3. カーソル [◀] [▶] ボタンで設定したいパラメーターを選び、[-] [+] ボタンで値を変更します。
4. [Exit] ボタンを何回か押してトップ画面に戻ります。

メニュー項目

メニュー カーソル [◀] [▶]	説明
SYSTEM	JD-XA 全体の設定をします。
PROGRAM EDIT	プログラム・パラメーター画面を表示します。
PART EDIT	パート・パラメーター画面を表示します。
TONE EDIT	現在選ばれているパートの TONE EDIT 画面を表示します。
EFFECTS EDIT	エフェクト・エディット画面を表示します。
MIC EDIT	マイク・エディット画面を表示します。
LED CUSTOMIZE	トップ・パネルにある LED の点灯方法を設定する画面を表示します。
PATTERN UTIL	パターンのユーティリティと設定画面を表示します。
FAVORITE UTIL	フェイバリット登録状態の確認と削除をする画面を表示します。
UTILITY	各種ユーティリティ・メニューを表示します。
VERSION INFO	ソフトウェアのバージョンを表示します。

➔ パラメーターについて詳しくは、『パラメーター・ガイド』(PDF) をご覧ください。

システム設定をする (SYSTEM)

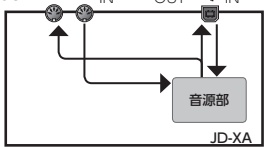
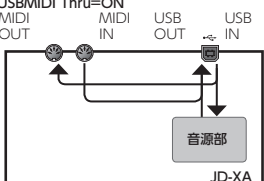
JD-XA 本体の設定をします。

1. [Menu] ボタンを押します。
 2. カーソル [◀] [▶] ボタンで「SYSTEM」を選び、[Enter] ボタンを押します。
- GENERAL:
LCD Contrast 10
3. [Shift] ボタンを押しながらカーソル [◀] [▶] ボタンを押して設定するメニューを選びます。
 4. カーソル [◀] [▶] ボタンで設定したいパラメーターを選び、[-] [+] ボタンで値を変更します。
 5. [Exit] ボタンを何回か押してトップ画面に戻ります。

メニュー [Shift] + カーソル [◀] [▶]	パラメーター カーソル [◀] [▶]	設定値 [-] [+]	説明
GENERAL	LCD Contrast	1 ~ 10	ディスプレイの文字表示の濃さを調節します。
	Auto Off	OFF、30 min、240 min	一定時間がたつと自動で電源が切れるようにします。 自動で電源を切る必要がない場合は、[OFF] に設定します。
	StartPrg	INT:A01 ~ USB:P16	起動時のプログラム番号を設定します。
	Knob Mode	DIRECT、CATCH	つまみを動かしたときに、常にその位置のコントロール・データを出力するか (DIRECT)、パラメーターの値を通過したときからコントロール・データを出力するか (CATCH) を設定します。
	LED Demo	OFF、1min ~ 60min	LED デモを表示するまでの時間 (分) を設定します。
	USB Drv	VENDOR、GENERIC	ローランドが提供している専用のドライバを使用します。MIDI とオーディオが使用できます (VENDOR)。OS 標準のドライバを使用します。MIDI のみに限定されます (GENERIC)。

メニュー [Shift] + カーソル [◀] [▶]	パラメーター カーソル [◀] [▶]	設定値 [-] [+]	説明
KEY TOUCH	Velocity	REAL	キーを押さえる強さに応じたペロシティーを送信します。
		1 ~ 127	キーを押さえる強さに関係なく、常に一定のペロシティーを送信します。
	Velo Crv	LIGHT	鍵盤のタッチ感を軽めの設定にします。 MEDIUM より弱いタッチでフォルティッシモ (ff) が出せるので、鍵盤が軽くなったように感じられます。力の弱い方でも、演奏しやすい設定です。
		MEDIUM	鍵盤のタッチ感を標準設定にします。
		HEAVY	鍵盤のタッチ感を重めの設定にします。 MEDIUM より強いタッチで弾かないとフォルティッシモ (ff) が出せなくなるので、鍵盤が重くなったように感じられます。ダイナミックに弾くとき、さらに感情が込められます。
	Velo Offset	-10 ~ +9	キーボード・ペロシティー・カーブを調節します。 値を小さくするほど、タッチ感がより軽くなります。 値を大きくするほど、タッチ感がより重くなります。
PEDAL1 PEDAL2	Asgn Src	SYSTEM、PROGRAM	ペダルでコントロールする機能が、システムの設定にしたがうか (SYSTEM)、プログラムの設定にしたがうか (PROGRAM) を選びます。
		OFF	機能を割り当てません。
	Asgn	CC01 ~ 31、33 ~ 95	コントローラー・ナンバー 1 ~ 31、33 ~ 95
		BEND-DOWN	ピッチ・ベンド・レバーを左に倒したのと同様の効果がかかります。
		BEND-UP	ピッチ・ベンド・レバーを右に倒したのと同様の効果がかかります。
		AFT	アフタータッチ
		START/STOP	パターンのスタートとストップをします。
		TAP-TEMPO	パネルの [Tap] ボタンを押したのと同様の効果がかかります。
		PROG-DOWN	プログラムを、前のナンバーに切り替えます。
		PROG-UP	プログラムを、次のナンバーに切り替えます。
		FAV-DOWN	フェイバリットを、前のナンバーに切り替えます。
		FAV-UP	フェイバリットを、次のナンバーに切り替えます。
		PANEL-DEC	パネルの [-] ボタンを押したときと同様の効果がかかります。
		PANEL-INC	パネルの [+] ボタンを押したときと同様の効果がかかります。
	Dest	PART-Select、PART-On	効果をかけるパートを PART Select にしたかどうか、PART On にしたかどうか選びます (CC、BEND、AFT 選択時)。
	Polarity	STD、RVS	ペダルの極性を選びます。 ペダルによっては、ペダルを踏んだときと離れているときの動作が逆になるものがあります。 動作が逆になるペダルを使うときは [RVS] にします。 ローランドのペダル (ポラリティー・スイッチが付いていないもの) を使うときは [STD] にします。
HOLD PEDAL	Polarity	STD、RVS	ペダルの極性を選びます。 ペダルによっては、ペダルを踏んだときと離れているときの動作が逆になるものがあります。 動作が逆になるペダルを使うときは [RVS] にします。 ローランドのペダル (ポラリティー・スイッチが付いていないもの) を使うときは [STD] にします。
	Cont Hold	OFF、ON	ON にすると、HOLD 端子がハーフ・ペダル対応になります。

メニュー [Shift] + カーソル [◀] [▶]	パラメーター カーソル [◀] [▶]	設定値 [-] [+]	説明
WHEEL1 WHEEL2	Asgn Src	SYSTEM, PROGRAM	ホイールでコントロールする機能が、システムの設定にしたがうか (SYSTEM)、プログラムの設定にしたがうか (PROGRAM) を選びます。
	Asgn	OFF	機能を割り当てません。
		CC	コントローラー・ナンバー 1 ~ 31、33 ~ 95
		BEND	上方向に動かすとピッチが上がり、下方向に動かすとピッチが下がります。ホイールが中央のときは変化しません。
		BEND-DOWN	ピッチ・ベンド・レバーを左に倒したのと同様の効果がかかります。
		BEND-UP	ピッチ・ベンド・レバーを右に倒したのと同様の効果がかかります。
		AFT	アフタータッチ
SOUND	Dest	PART-Select, PART-On	効果をかけるパートを PART Select にしたがうか、PART On にしたがうかを選びます。
	Local Switch	OFF, ON	コントローラー部 (鍵盤、ピッチ・ベンド / モジュレーション・レバー、ホイール、パネル上のつまみやボタン、ペダルなど) と内部音源の接続オン / オフ。通常は [ON] にしておきます。JD-XA の操作で外部音源だけをコントロールしたいときは [OFF] にします。
	MasterTune	415.3 ~ 466.2	全体のチューニングをします。表示の値は A4 キー (中央のラ) の周波数です。
	MasterKeySft	-24 ~ +24	全体の音域を半音単位で移動します。
	Master Level	0 ~ 127	全体の音量を設定します。
SYNC/ TEMPO	Output Gain	-12dB ~ +12dB	全体の出力ゲインを設定します。
	Sync Mode	MASTER	他の機器を同期させないで JD-XA 単体で使用する場合や、JD-XA の動作にしたがって他の機器を同期させる場合に設定します。
		REMOTE	他の機器からのスタート、ストップにはしたがいますが、テンポは JD-XA のテンポ設定で再生します。
		SLAVE	JD-XA がスレーブになります。他の機器の同期メッセージを受信して、JD-XA が動作する場合に設定します。
	Sync Output	OFF, ON	クロック、スタート、ストップを他の機器に送信するか (ON)、送信しないか (OFF) を設定します。
	Clock Src	MIDI, USB	Sync Mode が [SLAVE] のときに、MIDI IN 端子からの同期メッセージに同期するか、USB 端子からの同期メッセージに同期するかを設定します。
	TempoSrc	SYSTEM, PROGRAM	テンポが、システムのテンポ設定を使うか (SYSTEM)、プログラムのテンポ設定を使うか (PROGRAM) を設定します。
CLICK	Sys Tempo	5.00 ~ 300.00	JD-XA のシステム・テンポを設定します。
	Mode	OFF	クリック音を鳴らしません。
		PLAY-ONLY	パターンを再生するときに鳴ります。
		REC-ONLY	パターンを録音するときに鳴ります。
		PLAY&REC	パターンを再生または録音するときに鳴ります。
		ALWAYS	常にクリック音を鳴らします。
		※ Mode の設定にかかわらず、CLICK 端子からは常にクリック音が鳴ります。	
CLICK OUT	Level	0 ~ 10	クリックの音量を調節します。
	Accent Sw	OFF, ON	クリック音にアクセントが付きます。
	Level	0 ~ 127	CLICK 端子からの出力音量
MIDI	Stereo Sw	MONO, STEREO	CLICK 端子のステレオ / モノを切り替えます。モノラル・ケーブルで使う場合は [MONO]、ステレオ・ケーブルで使う場合は [STEREO] に設定します。
	Device ID	17 ~ 32	システム・エクススクルーシブ・メッセージを送受信するときは、相互の機器のデバイス ID ナンバーを合わせます。
	Remote Kbd	OFF, ON	外部 MIDI キーボードを JD-XA の鍵盤の代用として使う場合に [ON] にします。この場合、外部 MIDI キーボードの MIDI 送信チャンネルは何チャンネルでもかまいません。通常は [OFF] にしておきます。 ※ アルペジオを使った演奏で、外部 MIDI 機器からコントロールする場合は [ON] にします。
	Prog Ctrl Ch	1 ~ 16	外部 MIDI 機器から MIDI メッセージを送信して、プログラムを切り替えたり、コントロール・チェンジ・メッセージでプログラム全体のパラメーターをコントロールしたりするときの MIDI 受信チャンネルを設定します。

メニュー [Shift] + カーソル [◀] [▶]	パラメーター カーソル [◀] [▶]	設定値 [-] [+]	説明
MIDI	USB MIDI Thru	OFF, ON	USB COMPUTER 端子 / MIDI IN 端子から入ってきた MIDI 信号をそのまま MIDI OUT 端子 / USB COMPUTER 端子から送信するか (ON)、送信しないか (OFF) を設定します。 USB MIDI Thru=OFF  USB MIDI Thru=ON 
	Soft Thru	OFF, ON	ON にすると、MIDI IN 端子から入力された MIDI メッセージを MIDI OUT 端子へそのまま出力します。
MIDI TX	Tx Prog Chg	OFF, ON	プログラム・チェンジ・メッセージを送信するか (ON)、送信しないか (OFF) を設定します。
	Tx Bank Sel	OFF, ON	バンク・セレクト・メッセージを送信するか (ON)、送信しないか (OFF) を設定します。
	Tx Actv Sens	OFF, ON	アクティブ・センシング・メッセージを送信するか (ON)、送信しないか (OFF) を設定します。
	Tx Edit Data	OFF, ON	プログラムの設定変更を、システム・エクススクルーシブ・メッセージとして送信するか (ON)、送信しないか (OFF) を設定します。
MIDI RX	Rx Prog Chg	OFF, ON	プログラム・チェンジ・メッセージを受信するか (ON)、受信しないか (OFF) を設定します。
	Rx Bank Sel	OFF, ON	バンク・セレクト・メッセージを受信するか (ON)、受信しないか (OFF) を設定します。
	Rx Exclusive	OFF, ON	システム・エクススクルーシブ・メッセージを受信するか (ON)、受信しないか (OFF) を設定します。
CV/GATE1/2 OUT	Ch Src	SYSTEM, PROGRAM	CV/GATE のチャンネル設定でシステム設定を使うか (SYSTEM)、プログラム設定を使うか (PROGRAM) を設定します。
	Ctrl Ch	1 ~ 16, OFF	CV OUT 1/2、GATE OUT 1/2 端子にどのチャンネルのノートを出力するかを設定します。
	Ref Note	C0 ~ C4	CV OUT が 0V になるノート・ナンバーをオクターブ単位で設定します。
	Scale	-63 ~ +63	CV のスケールを調整します。
	Fine Tune	-50 ~ +50	CV OUT の 0V の調整をします。 ※ Scale の値を変更すると、この値も若干変動します。
INDICATORS	Part	OFF, ON	パートの発音インジケータのオン / オフを設定します。
	Beat	OFF, ON	テンポに応じたビート・インジケータのオン / オフを設定します。
CONTROL	Src Sel	SYSTEM PROGRAM	トーン・コントロールに Sys Ctrl Src1 ~ 4 を使います。 トーン・コントロールにプログラムの Tone Control Src1 ~ 4 を使います。
	Sys Ctrl1 ~ 4	OFF, CC, BEND, AFT	システム・コントロールとして使う MIDI メッセージを設定します。システム・コントロールは、JD-XA 全体で共通に使う、音量や音色などを MIDI メッセージでコントロールするための設定です。コントロールに使う MIDI メッセージを 4 つまで設定することができます。音色やエフェクトをリアルタイムにコントロールする設定をトーンごとに作りたいときは、「マトリックス・コントロール」や「マルチエフェクト・コントロール」を使います。 ➔ 詳しくは『パラメーター・ガイド』(PDF) をご覧ください。
MIC	NS Switch	OFF, ON	ノイズ・サプレッサーのオン、オフを設定します。ノイズ・サプレッサーは無音時のノイズを抑える機能です。
	NS Threshold	0 ~ 127	ノイズを抑え始める音量を調節します。
	NS Release	0 ~ 127	ノイズを抑え始めてから、音量が 0 になるまでの時間を調節します。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

メニュー [Shift] + カーソル [◀] [▶]	パラメーター カーソル [◀] [▶]	設定値 [←] [→]	説明
MIC REVERB	Switch	OFF, ON	リバーブのオン/オフ
	Type	ROOM1, ROOM2, STAGE1, STAGE2, HALL1, HALL2, DELAY, PAN-DLY	リバーブのタイプ
	Time	0 ~ 127	リバーブ音の余韻の長さ
	Level	0 ~ 127	リバーブの音量
	Switch	OFF, ON	マスター EQ のオン/オフ
MASTER EQ	Input Gain	-15dB ~ +15dB	マスター EQ の入力ゲインを調節します。
	Low Freq	16Hz ~ 800Hz	低域の基準周波数を設定します。
	Low Gain	-15dB ~ +15dB	低域の増幅/減衰量を調節します。
	Mid1 Freq	16Hz ~ 16000Hz	中域 1 の基準周波数を設定します。
	Mid1 Gain	-15dB ~ +15dB	中域 1 の増幅/減衰量を調節します。
	Mid1 Q	0.5 ~ 8.0	中域 1 の帯域幅を設定します。 値を大きくするほど幅が狭くなります。
	Mid2 Freq	16Hz ~ 16000Hz	中域 2 の基準周波数を設定します。
	Mid2 Gain	-15dB ~ +15dB	中域 2 の増幅/減衰量を調節します。
	Mid2 Q	0.5 ~ 8.0	中域 2 の帯域幅を設定します。 値を大きくするほど幅が狭くなります。
	Mid3 Freq	16Hz ~ 16000Hz	中域 3 の基準周波数を設定します。
	Mid3 Gain	-15dB ~ +15dB	中域 3 の増幅/減衰量を調節します。
	Mid3 Q	0.5 ~ 8.0	中域 3 の帯域幅を設定します。 値を大きくするほど幅が狭くなります。
	HighFreq	630Hz ~ 16000Hz	高域の基準周波数を設定します。
	High Gain	-15dB ~ +15dB	高域の増幅/減衰量を調節します。

システム設定を保存する

システム設定は、電源を切ると元に戻ります。電源を切っても設定を残しておきたいときは、システム設定の保存をします。

1. [Menu] ボタンを押します。
2. カーソル [◀] [▶] ボタンで [SYSTEM] を選び、[Enter] ボタンを押します。
確認画面が表示されます。
キャンセルする場合は、[Exit] ボタンを押します。
3. [Enter] ボタンを押します。
[Completed!] という画面が出て保存されます。
※ 保存中は、絶対に電源を切らないでください。

メモ

システム設定画面で [Write] ボタンを押すことでも、システム設定を保存することができます。

便利な機能 (UTILITY)

JD-XA 本体にデータを USB メモリーにバックアップしたり、USB メモリーのデータを JD-XA に復元したりすることができます。また、JD-XA を工場出荷時の設定に戻したり、USB メモリーの初期化したりするときも、[UTILITY] (ユーティリティ) を使います。

1. [Menu] ボタンを押します。
2. カーソル [◀] [▶] ボタンで [UTILITY] を選び、[Enter] ボタンを押します。
UTILITY 画面が表示されます。

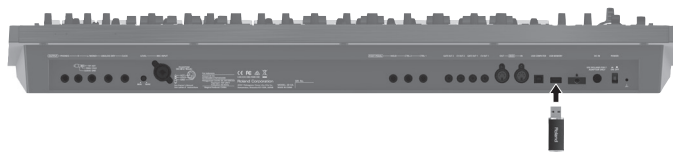
メニュー項目 カーソル [◀] [▶]	説明
BACKUP	ファイル名を指定してバックアップします。 システム、ユーザー設定 (.SVD)、パターン (.BIN) が作成されます。 ⇒ 「データをバックアップする (BACKUP)」 (P.15)
RESTORE	ファイル名を指定してリストアします。 システム、ユーザー設定 (.SVD)、パターン (.BIN) からリストアします。 ⇒ 「データを復元する (RESTORE)」 (P.15)
FACTORY RESET	⇒ 「工場出荷時の設定に戻す (FACTORY RESET)」 (P.15)
USB MEM FORMAT	⇒ 「USB メモリーをフォーマットする (USB MEM FORMAT)」 (P.14)

3. カーソル [◀] [▶] ボタンで実行したい項目を選び、[Enter] ボタンを押します。

USB メモリーをフォーマットする (USB MEM FORMAT)

※ 画面に [Executing] と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。

※ USB メモリーは挿入方向や表裏に注意して、確実に奥まで差し込んでください。また無理な挿入はしないでください。



1. [Menu] ボタンを押します。
2. カーソル [◀] [▶] ボタンで [UTILITY] を選び、[Enter] ボタンを押します。
3. カーソル [◀] [▶] ボタンで [USB MEM FORMAT] を選び、[Enter] ボタンを押します。
確認画面が表示されます。

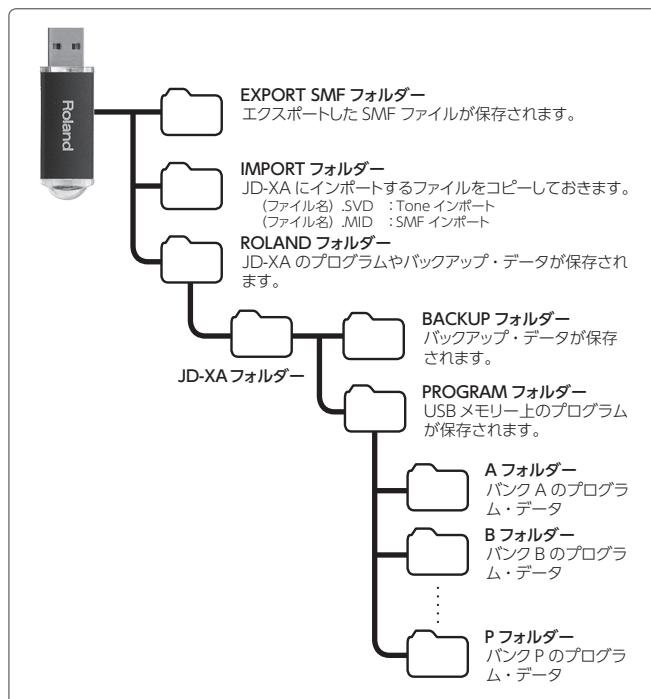
Format USB Mem?
[Exit]:N [Ent]:Y

中止するときは、[Exit] ボタンを押します。

4. [Enter] ボタンを押して、実行します。
完了すると、以下の画面が表示されます。

Completed!

USB メモリーのフォルダー構成



USB メモリーを使ってデータのバックアップと復元をする

ローランドが販売している USB メモリーを使用してください。それ以外の製品を使用したときの動作は保証できません。

データをバックアップする (BACKUP)

1. [Menu] ボタンを押します。
2. カーソル [◀ ▶] ボタンで [UTILITY] を選び、[Enter] ボタンを押します。

```
UTILITY  [Ent]
BACKUP    ▶
```

3. カーソル [◀ ▶] ボタンで [BACKUP] を選び、[Enter] ボタンを押します。
名前入力画面が表示されます。

```
BACKUP NAME[Ent]
JDXA_BKUP  .SVD
```

4. カーソル [◀ ▶] ボタンでカーソルを移動し、[-] [+] ボタンで文字を変更します。
5. 名前の設定が終わったら [Enter] ボタンを押します。
確認画面が表示されます。

```
Backup?
[Exit]:N [Ent]:Y
```

中止するときは、[Exit] ボタンを押します。

6. [Enter] ボタンを押します。

データを復元する (RESTORE)

ご注意！

リストアを実行すると、すべてのユーザー・データは書き替えられます。JD-XA に大切なデータが記録されているときは、リストアをする前に、別の名前を付けて USB メモリーにバックアップしてください。

1. [Menu] ボタンを押します。
2. カーソル [◀ ▶] ボタンで [UTILITY] を選び、[Enter] ボタンを押します。
3. カーソル [◀ ▶] ボタンで [RESTORE] を選び、[Enter] ボタンを押します。
4. リストアするファイルを [-] [+] ボタンで選び、[Enter] ボタンを押します。
確認画面が表示されます。

```
Restore?
[Exit]:N [Ent]:Y
```

中止するときは、[Exit] ボタンを押します。

5. [Enter] ボタンを押します。
完了すると、以下の画面が表示されます。

```
Completed.
Turn off power.
```

6. JD-XA の電源を入れ直します。

工場出荷時の設定に戻す (FACTORY RESET)

1. [Menu] ボタンを押します。
2. カーソル [◀ ▶] ボタンで [UTILITY] を選び、[Enter] ボタンを押します。
3. カーソル [◀ ▶] ボタンで [FACTORY RESET] を選び、[Enter] ボタンを押します。
確認画面が表示されます。

```
Factory Reset?
[Exit]:N [Ent]:Y
```

中止するときは、[Exit] ボタンを押します。

4. [Enter] ボタンを押して、実行します。
5. JD-XA の電源を入れ直します。

ファクトリー・リセットで初期化される項目

- すべてのユーザー・プログラム (アルペジオ、パターン、エフェクトを含む)
- システム設定
- LED CUSTOMIZE の設定

一定時間がたつと自動で電源が切れるようにする (Auto Off)

1. [Menu] ボタンを押します。
2. カーソル [◀ ▶] ボタンで [SYSTEM] を選び、[Enter] ボタンを押します。

```
GENERAL:
Auto Off  30min
```

3. [Shift] ボタンを押しながらカーソル [◀ ▶] ボタンを押して [GENERAL] を選びます。
4. カーソル [◀ ▶] ボタンで [Auto Off] を選び、[-] [+] ボタンで値を変更します。
自動で電源を切る必要がない場合は、[OFF] に設定します。
5. [Exit] ボタンを何回か押してトップ画面に戻ります。

つまみやスライダーの点灯状態をカスタマイズする (LED CUSTOMIZE)

カスタマイズ設定を使うと、Part Select の状態にかかわらず決められた LED の点灯状態で操作することができます。

1. [Menu] ボタンを押します。
2. カーソル [◀ ▶] ボタンで [LED CUSTOMIZE] を選び、[Enter] ボタンを押します。
3. [-] [+] ボタンで LED Customize パラメーターを設定します。
4. つまみやスライダーを動かして、LED の光かたを設定します。
5. [Write] ボタンを押して、設定を保存します。

メモ

LED CUSTOMIZE 画面で [Shift] ボタンを押しながら、[Program Select] (Init) ボタンを押すたびに LED の点灯状態を切り替えます (全点灯 ↔ 全消灯)。

ショートカット一覧

※「[A] + [B]」は、「[A] ボタンを押しながら [B] ボタンを押す」という操作を表します。

ショートカット	説明
Part	
[Shift] + Part On [01] ~ [04]	パート・ミュートをオン／オフします (P.4)。
[Arpeggio] + Part On [01] ~ [04]	各パートの Arpeggio Sw をオン／オフします (P.9)。
[Vocoder] + Part On [01] ~ [04]	各パートの Vocoder Send Sw をオン／オフします。
Part On [01] ~ [04] + 鍵盤を2回押す (下限、上限指定)	各パートのキー・レンジを設定します。
コントローラー	
[Shift] + [Modulation] レバー	Modulation LFO 設定状態にします。再度 [Shift] + [Modulation] レバーで解除します。
[Shift] + Wheel1 を動かす	Wheel1 のアサイン設定を表示します (P.13)。
[Shift] + Wheel2 を動かす	Wheel2 のアサイン設定を表示します (P.13)。
[Shift] + Pedal1 を踏む	Pedal1 のアサイン設定を表示します (P.12)。
[Shift] + Pedal2 を踏む	Pedal2 のアサイン設定を表示します (P.12)。
共通セクション	
[Exit] + 操作子	パラメーターを表示します (値は変わりません)。
[-], [+]	片方のボタンを押しながら、もう一方のボタンを押すと値が速く変わります。
[Shift] + [-] [+]	値の変化が大きくなります。
[Shift] + [◀ ▶]	前／次のパラメーター・セクションに移動します。
[Shift] + [MIDI CTRL]	トリガー・モードをオン／オフします (P.11)。
[Shift] + [Menu]	ディスプレイ・ロックをオン／オフします。オンにすると、操作子を動かしても対象となるパラメーターを表示しません (値は変わります)。
[Shift] + [Write]	LED Customize 画面を表示します (P.15)
[Shift] + [Enter]	マニュアル機能を実行します (P.2)。
[Shift] + [Program Select]	Init 画面を表示します (P.7)。 Arpeggio Edit 画面のときは、アルペジオ・パターンを初期化します。
[Shift] + [Bank]	Copy 画面を表示します (P.7)。
[Shift] + [Favorite]	Favorite Util 画面を表示します (P.7)。
[Program Select] + [01] ~ [16]	プログラムを選びます。
[Bank] + [01] ~ [16]	通常時: プログラムのバンクを切り替えます (P.4)。 フェイバリット時: フェイバリットのバンクを切り替えます (P.7)。
[Favorite] + [01] ~ [16]	現在のプログラム番号をフェイバリットに登録します (P.7)。
LFO	
[Shift] + [Tempo Sync]	Analog パート: LFO Key Trigger をオン／オフします。 Digital パート: LFO Key Trigger をオン／オフします。
[Shift] + [AMP Depth]	Analog パート: なし Digital パート: LFO Pan Depth を調節します。
OSC1	
[Shift] + [Pitch]	Analog パート: なし Digital パート: AMP Pan を調節します。
Part Select [01] ~ [04] + [Pitch]	各パートのパンを調節します。
[Shift] + [PW]	Analog パート: なし Digital パート: OSC PW Shift (Pulse Width Shift) を調節します。
PITCH ENV	
[Shift] + [Depth]	Analog パート: Pitch Env Velo Sens (Velocity Sens) を調節します。 Digital パート: なし
FILTER	
[Shift] + [Cutoff]	Analog パート: FILTER Cutoff Fine を調節します。 Digital パート: なし
[Shift] + [Key Follow]	Analog パート: FILTER KF Fine (Key Follow Fine) を調節します。 Digital パート: なし
[Shift] + [Env Depth]	Analog パート: FILTER Velo Sens (Velocity Sens) を調節します。 Digital パート: FILTER Velo Sens (Velocity Sens) を調節します。
AMP	
[Shift] + [Level]	Analog パート: AMP Velo Sens (Velocity Sens) を調節します。 Digital パート: AMP Velo Sens (Velocity Sens) を調節します。
Part Select [01] ~ [04] + [AMP Level]	各パートの音量を調節します。
EFFECTS	
[Shift] + [TFX 1 On]	TFX 1 画面を表示します (TFX1 Sw は変更しません)。
[Shift] + [TFX 2 On]	TFX 2 画面を表示します (TFX2 Sw は変更しません)。
[Shift] + [Part MFX On]	Part MFX 画面を表示します (Part MFX Sw は変更しません)。

ショートカット	説明
PATTERN SEQ	
[Shift] + [01] ~ [16]	[01] ~ [16] ボタンで表示する演奏データの表示位置 (小節) を移動します (P.8)。
[Pattern Length] + [01] ~ [16]	[01] ~ [16] + つまみ (Step REC 2 時)
[01] ~ [16] + つまみ (Step REC 2 時)	つまみの操作を指定したステップ (位置) に録音します (P.8)。
鍵盤 + [01] ~ [16] (Step REC 2 時)	鍵盤の音を指定したステップ (位置) に録音します。
[Shift] + [Erase]	Pattern Erase メニューを表示します (P.9)。
[Erase] + Part On [01] ~ [04]	Pattern Erase メニューを表示しつつ、指定したパートを消去対象にします (P.9)。
[Erase] + [01] ~ [16]	Step REC で対象パートの指定したステップに含まれる録音データをすべて消去します (P.8)。
[Erase] + つまみ	Realtime Erase 時: つまみのデータを消去対象にします (P.8)。
[Shift] + [Step REC]	Step REC の設定画面を表示します (P.8)。 (Step REC 状態は変更しません)
[Shift] + [Realtime REC]	Realtime REC の設定画面を表示します (P.8)。 (Realtime REC 状態は変更しません)
[Shift] + [Tap]	テンポ・パラメーターを表示します。
鍵盤左	
[Shift] + OCTAVE [Up] [Down]	現在選択されてるパートの Tone Common Oct Shift (Octave Shift) を設定します。
[Shift] + [Key Hold]	Kbd Velocity の設定を切り替えます (Real ↔ 固定値 (初期値: 127)) (P.12)。
[Shift] + [Arpeggio]	アルペジオ画面を表示します (P.9)。 (Arpeggio Sw は変更しません)

➡ パラメーターについて詳しくは、『パラメーター・ガイド』(PDF) をご覧ください。

エラー・メッセージ一覧

操作に誤りがあったり、操作どおりに正しく処理できなかったりしたときは、エラー・メッセージが表示されます。表示されたエラー・メッセージの指示にしたがって対応してください。

メッセージ	意味	対応
Incorrect File!	インポートするSMFをJD-XAに読み込むことができません。	4/4 拍子以外の拍子情報を含む SMF データは、JD-XA で読み込むことができません。SMF の拍子情報を修正してください。 インポートする SMF のフォーマットを 0 にしてください。
USBMem NotReady!	USB メモリーが差し込まれていません。または差し込みが不完全な状態で操作しています。 USB メモリーにあるデータを選んであとで、USB メモリーが抜かれました。 USB メモリーのフォーマットが不正です。	一度電源を切り、USB メモリーを確実に差し込んで、再度電源を投入してください (P.4)。 JD-XA で USB メモリーをフォーマットしてください (P.14)。
Read Error!	USB メモリーからデータを読み込むことができません。 ファイルが壊れています。	USB メモリーが正しく挿入されているか確認してください。また、ローランドが販売している USB メモリーを使っているかを確認してください。 このファイルは使わないでください。
Write Error!	USB メモリーにデータを書き込むことができません。 USB メモリーのフォーマットが不正です。	USB メモリーが正しく挿入されているか確認してください。また、ローランドが販売している USB メモリーを使っているかを確認してください。 JD-XA で USB メモリーをフォーマットしてください (P.14)。
USB Memory Full!	USB メモリーの容量が不足しています。	不要なデータを削除してください。
INT Memory Full!	本体メモリーの容量が不足しています。	不要なプログラムのパターンを初期化して保存し直すか、USB メモリーに保存してください。
Sys Mem Damaged!	本体保存領域の内容が壊れている可能性があります。	ファクトリー・リセットをしてください (P.15)。それでも直らないときは、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターにお問い合わせください。
MIDI Buff Full!	非常に大量の MIDI データを受信したので処理できません。	送信する MIDI メッセージの量を減らしてください。
MIDI Offline!	MIDI IN の接続が切られました。	JD-XA の MIDI IN に接続している MIDI ケーブルに異常はないか、また MIDI ケーブルが抜けていないか確認してください。
Not Registered!	登録されたフェイバリットがありません。	フェイバリットが登録されていることを確認してください (P.7)。
No More Regist!	これ以降には、登録されたフェイバリットがありません。	現在選ばれているフェイバリットの番号と、ペダルに設定している「FAV-UP」「FAV-DOWN」の方向を確認してください (P.12)。

メッセージ	意味	対応
Program Error!	JD-XA の起動ができません。正常にプログラムが読み込めません。または、システム・アップデート用のプログラムが正しくない可能性があります。	正しいプログラムを使って、再度アップデートをしてください。それでも直らないときは、お買い上げ店またはお客様相談センターにお問い合わせください。
Now Playing!	演奏中のため、その操作は実行できません。	演奏を停止してから操作してください。
Now Recording!	録音中のため、その操作は実行できません。	録音を停止してから操作してください。
Rec Overflow!	一度にたくさんの録音データが入力されたので、正しく処理できませんでした。	録音データを少なくしてください。
Pattern Full!	1 つのパターンに録音できる最大録音音数を超えたため、これ以上パターンを録音できません。	録音中のパターンの不要なデータを消去してください。
Not Found!	USB メモリー内に対象のファイルが見つかりませんでした。	USB メモリー内に対象のファイルがあることを確認してください。

主な仕様

Roland JD-XA : シンセサイザー・キーボード

鍵盤	49 鍵 (ペロシティー対応、チャンネル・アフタータッチ付き)
電源	AC アダプター
消費電流	3,000mA
外形寸法	899 (W) × 388 (D) × 111 (H) mm
質量	6.5kg (AC アダプターを除く)
付属品	取扱説明書、AC アダプター、電源コード、保証書、ローランド ユーザー登録カード
別売品	キーボード・スタンド (*1) : KS-18Z ペダル・スイッチ : DP シリーズ エクスプレッション・ペダル : EV-5 USB メモリー (*2) *1 KS-18Z をお使いになるときは、設置の高さが 1m 以下になるようにしてください。 *2 ローランドが販売している USB メモリー (USB2.0 Hi-Speed 対応) を使用してください。それ以外の製品を使用したときの動作は保証できません。

製品の仕様や外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

安全上のご注意

警告

完全に電源を切るときは、コンセントからプラグを抜く

電源スイッチを切っても、本機は主電源から完全に遮断されてはいません。完全に電源を切る必要があるときは、本機の電源スイッチを切ったあと、コンセントからプラグを抜いてください。そのため、電源コードのプラグを差し込むコンセントは、本機にできるだけ近い、すぐ手の届くところのものを使用してください。



Auto Off 機能について

本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます（Auto Off 機能）。自動的に電源が切れないようにするには、Auto Off 機能を解除してください（P.15）。



指定のスタンドを使用する

本機の設置には、ローランドが推奨するスタンド（型番：KS-18Z）を使用してください（P.18）。



不安定な場所に設置しない

本機の設置にスタンド（型番：KS-18Z）を使用する場合、ぐらつくような場所や傾いた場所に設置せず、安定した水平な場所に設置してください。機器を単独で設置する場合も、同様に安定した水平な場所に設置してください。



警告

スタンドへ設置するときの注意

取扱説明書の指示どおりに設置してください（P.18）。

正しく設置しないと、不安定な状態となって落下や転倒を引き起こし、けがをする恐れがあります。



付属の AC アダプターを AC100V で使用する

AC アダプターは、必ず付属のものを、AC100V の電源で使用してください。



付属の電源コードを使用する

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。



注意

指定のスタンドのみ使用する

本機は当社製のスタンド（KS-18Z）とのみ、組み合わせて使用できるよう設計されています。他のスタンドと組み合わせて使うと、不安定な状態となって落下や転倒を引き起こし、けがをする恐れがあります。



スタンドを使う前に安全を確認する

取扱説明書に記載の注意事項が守られていても、取り扱いによってはスタンドから本機が落下したりスタンドが転倒したりする可能性があります。使用にあたっては事前に安全を確認した上でお使いください。



接地端子の取り扱いに注意する

接地端子ネジは、お子様が誤って飲み込んだりすることのないよう取りはずした状態で放置しないでください。再度ネジを取り付ける際は、ゆるみではずれないように確実に取り付けてください。



ファンタム電源の取り扱いについて

ファンタム電源供給に必要なコンデンサー・マイクを接続したとき以外は、ファンタム電源を必ずオフにしてください。ダイナミック・マイクやオーディオ再生装置などにファンタム電源を供給すると故障の原因になります。マイクの仕様については、お使いのマイクの取扱説明書をお読みください。



（本機のファンタム電源：DC 48V、10mA Max）

使用上のご注意

設置について

- 鍵盤の上にものを置いたままにしないでください。発音しなくなるなど、故障の原因になります。
- 設置条件（設置面の材質、温度など）によっては、本機のゴム足が設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。

修理について

- 修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をバックアップするか、メモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払ってありますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記録内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- 当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとでも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップしておいてください。
- 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。
- ディスプレイを強く押したり、叩いたりしないでください。
- エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のもの（別売：EV-5）をお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。
- 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

外部メモリーの取り扱い

- 外部メモリーを使うときは次の点に注意してください。また、外部メモリーに付属の注意事項を守ってお使いください。
 - 読み込み中や書き込み中には取りはずさない。
 - 静電気による破損を防ぐため、取り扱う前に身体に帯電している静電気を放電しておく。

知的財産権について

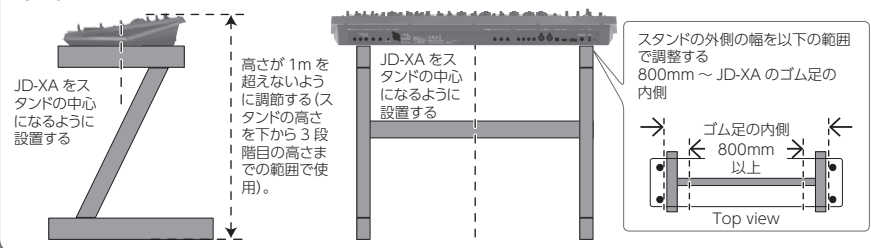
- 第三者の著作物（音楽作品、映像作品、放送、実演、その他）の一部または全部を、権利者に無断で録音、録画、複製あるいは改変し、配布、販売、貸与、上演、放送などを行うことは法律で禁じられています。
- 第三者の著作権を侵害する恐れのある用途に、本製品を使用しないでください。お客様が本製品を用いて他者の著作権を侵害しても、当社は一切責任を負いません。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツ（音色波形データ、スタイル・データ、伴奏パターン、フレーズ・データ、オーディオ・ループ、画像データなど）の著作権は当社が保有しています。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツ（ただしデモ曲などの楽曲データは除く）を素材として、お客様が新たな作品を制作、演奏、録音、配布をするに関しましては、当社の許諾を必要としません。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツを、そのまま、もしくは酷似した形態で取り出し、別の記録媒体に固定して配布したり、コンピューター・ネットワークを通じて公開したりすることはできません。
- MWP（Moore Microprocessor Portfolio）はマイクロプロセッサのアーキテクチャーに関する TPL（Technology Properties Limited）社の特許ポートフォリオです。当社は、TPL 社よりライセンスを得ています。
- ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の商標およびソフトウェアです。
- 本製品には、イーソル株式会社のソフトウェアプラットフォーム「eCROS™」が搭載されています。

- Roland、SuperNATURAL は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- MIDI は、社団法人音楽電子事業協会（AMEI）の登録商標です。
- 文中記載の会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。

スタンドに設置する

JD-XA をスタンドに設置するとき、当社製のスタンド KS-18Z をご使用ください。スタンドを設置するとき、指などをはさまないように、十分にご注意ください。ご使用になるときは以下のように設置します。

KS-18Z



JD-XA Structure Diagram

